

事務事業コード	774210	事務事業名	きりしま写真展開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	芸術文化グループ
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		電話番号	42-1119
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 15 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	款	10	教育費		
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	
	目	6	文化振興費		
コード	774210				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績								
霧島の自然を写した写真を公募し、優秀作品を展示することで、郷土への愛着を深めるとともに写真に対する関心を深めてもらう。 手順 ①開催要綱の決定 ②募集チラシの作成・広報 ③応募作品の審査 ④優秀作品の展示・表彰(各地区の巡回展も開催する) 賞 ○きりしま大賞 1点 ○優秀賞 4点 ○環境賞 2点 ○霧島市観光協会賞 2点 ○奨励賞 5点 ○入選 10点以内			展示期間	2月10日～2月23日	巡回展	2月24日～3月30日	応募総数	238点	応募者数	102名	
			平成23年度計画								
			展示期間	2月10日～3月6日	巡回展	2月20日～3月30日	応募総数	300点	応募者数	150名	
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)					
ア	出品点数	点	202	238	300	300					
イ	出品者数	人	83	102	150	150					
ウ											
③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)					
ア	市民(鑑賞者)	市民	人	127,662	127,512	128,868	129,098				
イ	応募対象者	県民・環霧島会議加盟市町	人	1,795,070	1,786,130	1,773,432	1,763,052				
ウ											
⑤ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)					
ア	写真に対する関心を高めてもらう	写真展入場者数	人	1,700	1,960	3,350	3,350				
イ	写真に対する関心を高めてもらう	写真点出品者数	人	83	102	150	150				
ウ											
⑦ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)					
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人	24,104	26,454	23,178	23,170				
イ											

(2) 事業費		単位:千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
	22年度(決算)	23年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?		② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
予算額	当初予算額	262	424	旧国分市の市制50周年を記念し、地域の名所等を題材とした写真展を開始した。	デジタルカメラの普及に伴い、どこでも気軽に撮影できるようになった。
	補正予算額	0			
	予算合計	262	424		
決算額	国庫補助金	0		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	262			
	支出合計	262			
				合併に伴い、旧市町の写真展がそのまま引き続き開催されている。集約して開催の方法を検討する必要がある。	特になし。

事務事業コード	774210	事務事業名	きりしま写真展開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	190		190	316		316	316		316
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	72		72	97		97	97		97
消耗品費	10		10	28		28	28		28
燃料費									
食料費									
印刷製本費	62		62	69		69	69		69
光熱水費									
修繕料									
12 役員費				11		11	11		11
通信運搬費				11		11	11		11
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	262		262	424		424	424		424

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	262		262	424		424	424		424
計	262		262	424		424	424		424

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成22年度	当初予算	262千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	262千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774210	事務事業名	きりしま写真展開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	写真展の開催は、写真をとおして郷土への愛着を深めるとともに写真に対する関心を深めてもらうことを目的としているため、政策に一致する。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の自然や伝統行事、産業、人々の暮らし、環境、ジオパーク等をテーマにした写真展はないため。また、入賞した作品は霧島市に帰属するため、パンフレットなどにも活用できる。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は霧島市を含めた県民及び環霧島会議加盟市町としており、意図についても写真展をとおして霧島市の豊かな風景等の再発見や写真に対して関心を深めてもらうこととしているので、妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	写真展の周知化をこれまで以上に取り組むことにより、応募数や鑑賞者の人数を増やすことが可能である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	写真展の類似事業はあるが、いづれも限られた人の参加(写真クラブ)や限定されたテーマにであり、きりしま写真展のように幅広いテーマで応募する写真展はない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 夏祭り写真展・エアポートフォトコンテスト・藤まつり写真展等との連携は可能である。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費は写真展の周知・公募を図るためのチラシの作成と写真審査や入賞者への報償費が主な内容であり、削減の余地は厳しい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	文化協会加盟の写真同好会等が中心となった実行委員会を取り組むことも考えられるが、事務局を主管課に置く以上、業務時間はかわらないし、実行委員会設置や開催などを考えると業務時間の増加が考えられる。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	広く市民に広報し、写真の公募を行っており、一部の市民の写真展ではないので公平・公正である。また、写真展を市民ギャラリーの開催や各地区での巡回展を行なうことでより広く市民に鑑賞の場を提供している。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	これまで6回の写真展を開催しているが、撮影ポイントが限られてきており、応募者等も特定された感がある。しかし、ジオパークに対する認識が少しずつ浸透してきており、写真にもその変化がうかがえる。さらには、写真撮影の技術や構成(アングル)などは年々向上してきており、写真展の成果は少しずつではあるが、上がってきている。
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
平成23年度の取組み ①きりしまフォトコンテストと改名しての開催(巡回展を含む) ②エアポートフォトコンテストとの統合 ③他事務事業との連携 霧島市民音楽祭 期待される効果 ①類似事業との統合により、より多くの市民に写真展を見ていただく ②霧島市の新たな発見や写真の魅力に触れる機会の提供 ③写真応募の増加	①他事業との連携 これまで以上に他事業(夏祭り、文化祭)との共同開催を進めて行く。 ②これまで入選した写真の活用 ・入選した写真の貸出し ・パンフレット、HPなどでの活用

事務事業コード	774220	事務事業名	生徒芸術鑑賞会事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	芸術文化グループ
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		電話番号	42-1119
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	
	コード	774220			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績				
青少年に対して優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、芸術に対する興味、関心を高めるとともに、豊かな心を養成する。 霧島市内の中学生を対象に霧島市民会館、溝辺公民館(みそめ館)等のホールにて、芸術鑑賞会を実施する。 事務手続き 県への開催希望申請 → 内定 学校との調整(送迎バスの調整等) 実施			内容 鹿児島オペラ協会 ~歌の贈り物~ 鑑賞者 1,124人 平成23年度計画 内容 バレエ 場所 霧島市民会館 対象 全中学3年生 鑑賞者 1,320人				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	舞台演劇・コンサートの開催数	回	2	2	2	2	
イ							
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	霧島市内の中学生	中学3年生の数、引率する教員の数	人	1,437	1,320	1,304	1,300
イ							
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	芸術に対する興味、関心を持ってもらう。	入場者数	人	997	1,124	1,320	1,300
イ	芸術に対する興味、関心を持ってもらう。	舞台鑑賞して感動した生徒の割合	%	未把握	73	75	75
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人	24,104	26,454	23,178	23,170
イ							

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	22年度(決算)	879	23年度(予算)	878	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 平成8年度から、溝辺地区内中学生の芸術鑑賞事業として開始された。その後、小学生の参加する事業となった。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 合併により溝辺地区内から、近隣の横川、牧園へも地域を広げた。それに伴い、平成19年度より市内の全中学生を対象とする事業となっている。(対象者は中学3年生)
	補正予算額		0				
	予算合計		879		878		
決算額	国庫補助金		0			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 青少年に優れた舞台芸術を鑑賞させることは非常に素晴らしいことである。(学校関係者)	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		0				
	一般財源		598				
支出合計		598					

事務事業コード	774220	事務事業名	生徒芸術鑑賞会事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	5		5	5		5	5		5
消耗品費	5		5	5		5	5		5
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役員費	42		42	42		42	42		42
通信運搬費									
広告料									
手数料	42		42	42		42	42		42
保険料									
13 委託料	150		150	300		300	300		300
14 使用料及び賃借料	401		401	531		531	531		531
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	598		598	878		878	878		878

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	598		598	878		878	878		878
計	598		598	878		878	878		878

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成22年度	当初予算	879千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	879千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	774220	事務事業名	生徒芸術鑑賞会事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	生の優れた舞台芸術を鑑賞する喜びを感じ、創造的な精神の醸成などその情操の形成がなされ、自発的に優れた芸術に触れる機運を高めることで、芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	社会教育、学校教育の観点から必要な事業であるとともに、芸術文化の振興は地域や学校における芸術文化意識の向上につながる。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市内のすべての中学3年生を対象として、芸術に対する興味、関心を喚起することを目的としており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	中学校在学中に市内全生徒を対象に舞台芸術を鑑賞を実施しており、また鑑賞した生徒も生の公演に感動しており、十分に成果が出ているが、さらに舞台内容の検討し、より良く効果が上げられるようにしていきたい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	中学生の芸術鑑賞機会が減少することで、芸術文化活動に新たに触れたり、取り組むきっかけがなくなる恐れがある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	公演委託料のかからない県の事業を利用していることや、同日に2回公演をするなどして経費の削減を図っている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	鑑賞会実施までは学校と公演団体や県との調整をする必要最小限の事務量である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	青少年健全育成の面からも霧島市内中学生への鑑賞機会提供は公平・公正である。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	中学生という感受性の強い時期に、優れた生の音楽や舞台芸術に触れることは芸術文化活動のきっかけづくりに大きく寄与すると考える。今後も生徒が関心を持ち感動する舞台公演の確保に努めながら、内容の充実を図りたい。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果 ・舞台内容:パレエ ・場所:霧島市民会館 ・対象者:市内中学校3年生全員 ・生の優れた舞台芸術を鑑賞することで創造的な精神の醸成などその情操の形成がなされる。 ・芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。 ・パレエ鑑賞は本事業でははじめての試みであるため、あらかじめ学校において予習を行いたい。	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容 多感な時期である市内の全中学3年生を対象に、素晴らしい生の舞台鑑賞をこれまでどおり実施していきたい。 また、あらゆる情報を取入れながら、安価で内容の充実した舞台公演を実施していきたい。

事務事業コード	774221	事務事業名	青少年劇場開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	芸術文化グループ
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		電話番号	42-1119
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	款	10	教育費		
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	
	目	6	文化振興費		
コード	774221				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績			
文化・芸術に接する機会の少ない児童に生の優れた児童演劇等の舞台を鑑賞させることにより、豊かな心を養成する。 県が進めている市町村による青少年劇場を活用し、霧島市内の小学生を対象に、各学校の体育館で実施する。 各学校には3年で1回の鑑賞機会を提供できるように配分をしている。 事務手続き ①県への開催希望申請 → 内定 ②学校との調整(日程調整、体育館の確認、複数校の鑑賞の場合はバスの手配等) ③実施			神田 将「電子オルガンコンサート」 国分小、国分南小、平山小、塚脇小 横川小、安良小、佐々木小、大田小 霧島小、永水小、富隈小 平成23年度計画 神田 将「電子オルガンコンサート」 高千穂小、持松小、中津川小、向花小、 青葉小、上小川小、小野小、小浜小、 日当山小、中福良小、溝辺小、竹子小			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	公演の回数	回	4	5	6	6
イ						
ウ						
③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	霧島市内小学生	人	8,053	7,821	7,725	7,700
イ						
ウ						
⑤ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	芸術に対する興味、関心を持ってもらう	人	1,985	2,379	2,416	2,400
イ	芸術に対する興味、関心を持ってもらう	%	未把握	70	75	75
ウ						
⑦ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	人	24,104	26,454	23,178	23,170
イ						

(2) 事業費		単位:千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
	22年度(決算)	23年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?		② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
予算額	当初予算額	1,797	各市町でそれぞれのやり方で開催されていたものを、合併を機に市内のすべての小学校児童に公平に6年間で2回は鑑賞できるように開催するようにした。		合併に伴い、対象校並びに鑑賞対象者数が大幅に増加した。
	補正予算額	0			
	予算合計	1,797			
決算額	国庫補助金	0	③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?		④ この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金	0	青少年に優れた芸術を鑑賞させることは創造性を育むために非常に大切である。一学校一		
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	1,797			
	支出合計	1,797			

事務事業コード	774221	事務事業名	青少年劇場開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円		平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
		単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報酬									
2	給料									
3	職員手当等									
4	共済費									
7	賃金									
8	報償費									
9	旅費									
10	交際費									
11	需用費									
	消耗品費									
	燃料費									
	食料費									
	印刷製本費									
	光熱水費									
	修繕料									
12	役員費				126		126	126		126
	通信運搬費									
	広告料									
	手数料				126		126	126		126
	保険料									
13	委託料	1,575		1,575	1,890		1,890	1,890		1,890
14	使用料及び賃借料	222		222	311		311	311		311
15	工事請負費									
16	原材料費									
17	公有財産購入費									
18	備品購入費									
19	負担金補助・交付金									
20	扶助費									
21	貸付金									
22	補償補填及び賠償金									
23	償還金・利子・割引料									
24	投資及び出資金									
25	積立金									
26	寄附金									
27	公課費									
28	繰出金									
	計	1,797		1,797	2,327		2,327	2,327		2,327

財源内訳	国									
	県									
	地方債									
	辺地債									
	過疎債									
	合併特例債									
	その他									
一般財源	1,797		1,797	2,327		2,327	2,327		2,327	
計	1,797		1,797	2,327		2,327	2,327		2,327	

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成22年度	当初予算	1,797千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	1,797千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774221	事務事業名	青少年劇場開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	生の優れた舞台芸術を鑑賞する喜びを感じ、創造的な精神の醸成などその情操の形成がなされ、自発的に優れた芸術に触れる機運を高めることで、芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	社会教育、学校教育の観点から必要な事業であるとともに、芸術文化の振興は地域や学校における芸術文化意識の向上につながる。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市内のすべての小学生を対象として輪番で、芸術に対する興味、関心を喚起することを目的としており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	小学校在学中に市内全児童を対象に舞台芸術を鑑賞を実施しており、また鑑賞した児童も生の公演に感動しており、十分に成果が出ているが、より充実を図るため、公演内容を検討していきたい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	小学生の鑑賞機会が減少し、芸術文化活動に新たに組み込まれ減少する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	旧市町で地区分けをし、児童規模の多い学校を会場とし、そこへ近隣の規模の比較的小さい学校の児童を集めて公演を実施しており、公演数の削減、バス借上げ料の削減を図っている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	開催時は学校側で対応することから、職員は開催申請や県や公演団体と各学校の日程調整をする必要最小限の事務量である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	輪番で3年に1回は芸術鑑賞の機会があることから公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		小学生在学中にすぐれた舞台芸術等に触れることは、子供たちの心身ともに健康な成長と芸術文化活動へのきっかけづくりに大きく寄与すると考えている。公演内容については、子どもたちの希望も十分考慮し内容の充実を図りたい。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取り組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
・公演内容: 神田将オルガンコンサート ・公演場所: 高千穂小、向花小、青葉小、小野小、日当山小、溝辺小 ・優れた舞台芸術を生で鑑賞することで、鑑賞する喜びを体感するとともに、創造的な精神の醸成などその情操の形成がなされる。 ・芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	・優れた舞台芸術の提供。(輪番校:3年に1回) ・効率の良い公演会場(学校)の選定により、経費の節減に努める。 ・開催日や公演会場の決定をできるだけ早期に決められるように、鹿児島県に働きかける。

事務事業コード	744223	事務事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	45-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 55 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	6	文化振興費		霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774223				
補助金負担金別	<input type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)

財団法人ジェスク音楽文化振興会に霧島国際音楽祭の運営補助金を支出している。
 【活動内容】
 霧島国際音楽ホールを主会場として国内外で活躍する講師陣による講習会と演奏会を開催している。
 期間 7月22日から8月8日(18日間)
 主催 財団法人ジェスク音楽文化振興会・鹿児島県・財団法人鹿児島県文化振興財団
 共催 霧島市 後援 霧島市教育委員会
 【事務事業】
 補助金交付に係る諸手続き、文化協会活動に対する指導・助言

補助金・負担金の交付先	財団法人ジェスク音楽文化振興会	補助金の対象経費	霧島国際音楽祭の運営に要する経費			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	演奏会の回数	回	46	53	50	50
イ	講習会の回数 (クラス・コース)	回	15	15	15	15
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	市民	人	127,662	127,512	128,868	129,098
イ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	音楽祭を通して、音楽鑑賞の普及に努める	人	14,047	15,304	15,000	15,000
イ	世界の演奏家による、実技指導を開催	人	153	149	150	150
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる	人	24,104	26,454	23,178	23,170
イ						

(2)事業費		単位：千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
	22年度(決算)	23年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 1980年鹿児島県の音楽文化向上のため講習会と演奏会を組み合わせた音楽祭がスタートした。平成6年第15回霧島国際音楽祭から霧島国際音楽ホールを主会場として開催されている。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 合併前に旧牧園町及び霧島町から支出していた補助金を新市に引継ぎ同額を補助している。霧島市となり、市民の音楽祭への認識度は高まったが、参加のあり方が問われている。	
当初予算額	7,066	7,060			
補正予算					
予算合計	7,066	7,060			
決算額	国庫補助金		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 国内外で評価の高い音楽祭であるが、市民の音楽祭に対する関心が低く、演奏会への参加も極端に少ない。今後、演奏会への集客を図るため、市民に親しまれる演奏会とするための内容検討を求められている。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 平成20年度 第2回定例市議会 「霧島国際音楽祭における本市の文化政策の位置づけについて」	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	7,066			
支出合計	7,066				

事務事業コード	744223	事務事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名								平成22年度 (決算)		平成23年度 (予定)		平成24年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金
1	財団法人ジェスク音楽文化振興会								補助金	7,000	補助金	7,000	補助金	7,000
									自主財源	68,125	自主財源	68,000	自主財源	68,000
	合計								75,125	75,000	75,000			
2	霧島国際音楽祭シンフォニーの丘のビュッフェパー ティーinみやま実行委員会								補助金	66	補助金	60	補助金	60
									自主財源	1,134	自主財源	1,134	自主財源	1,134
	合計								1,200	1,194	1,194			
3									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
4									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
5									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
6									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
7									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
8									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
9									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
10									補助金		補助金		補助金	
									自主財源		自主財源		自主財源	
	合計													
計								補助金負担金合計	7,066	補助金負担金合計	7,060	補助金負担金合計	7,060	
								自主財源合計	69,259	自主財源合計	69,134	自主財源合計	69,134	
								自主財源率	91%	自主財源率	91%	自主財源率	91%	

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名		平成22年度 (決算)	平成23年度 (計画)	平成24年度 (予定)	負担金の支払先			
	負担金額					全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

■平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	7,066
補正予算	
合計	7,066

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	744223	事務事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	心豊かで質の高い生活を送り、創造性に富んだ活力ある地域社会を築くために、優れた音楽に触れることのできる音楽祭は文化の創造を図る街づくりに必要であり文化の振興につながる。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民に優れた芸術の鑑賞機会を提供することは、文化の香り高いまちづくりに必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は音楽祭の演奏会を鑑賞する市民であり、意図については音楽祭を通して音楽鑑賞の普及に努めていることから妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	講習会と演奏会がセットになった音楽祭である。受講者数は横ばいであるが演奏会への入場者は若干伸びている状況である。演奏会の内容を魅力あるものにし、観客数を増やすことは期待できる。また、受講生の申込みについても広く周知することで増加が見込まれる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	霧島国際音楽祭は国内外で評価の高い得ており、これまで30年以上の歳月をかけて、「音楽の街・霧島」を作り上げてきた。このような状況の中で廃止・休止することは、街づくりにマイナスイメージを与える。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	全体事業費の自主財源率は90%を越えているが、主催者の経費削減の努力や有料公演会の観客を増やすことで交付額の削減は可能であると思われる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員の業務としては、補助金交付の手続き並びに広報、地元開催(ロビーコンサート)の補助などであり、音楽祭運営には直接携わっていないため、今以上の業務時間の削減はできない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	受講生からは受講料を徴収し、演奏会については入場料を徴収している。公演会の開催等は広く市民に周知しており公平・公正に運営されている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	昭和55年の開始以来、本年は31回を数え国内有数の音楽祭として定着してきている。しかし、年々観客数は増えているが、まだ、一般市民から見ると一部の音楽愛好者の音楽祭というイメージが強いと感じている。、今後さらなる周知を図り、市民に親しまれる音楽祭を目指す必要がある。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
全市民にこれまで以上に親しまれ受け入れられる国際音楽祭にするため、下記のような事業に取り組む。 ① 小中高校に対して演奏者による音楽指導(クリニック)を積極的に取り組む。 ② 市民会館コンサート	国際音楽祭が市内で開催される立地的条件を大いに活用して、児童生徒を中心に、世界的著名な音楽家から指導が受けられる講習会(クリニック)をこれまで以上に積極的に取入れることにより、音楽の楽しさと音楽技術の向上を図る。

事務事業コード	774226	事務事業名	霧島市民音楽祭開催事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 20 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	
	コード	774226			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績				
霧島国際音楽祭開催時期に合わせて、国際音楽祭招待アーティスト等と市民の参加する市民音楽祭を開催する。市民音楽祭に出演する団体とゲスト演奏家との共演や、専門家としての音楽指導(クリニック)を行うなど交流を図る機会を提供する。また、実行委員会方式をとり、市民の意見を取り入れた、より市民に身近な音楽祭とする。 【事務内容】 ・実行委員会の設置、開催 ・出演団体を含めたプログラム内容の決定 ・ポスター・チラシ作成など広報活動 ・音楽祭実施(市民団体演奏、ゲスト演奏、市民団体とゲストの共演、合同演奏) ・ゲスト演奏家による音楽指導(クリニック) ・各事務精算			開催日:7月19日(月祝) 会場 :みやまコンセル 出演数:6団体 入場者数:716人				
			平成23年度計画				
			開催日:7月18日(月祝) 会場 :みやまコンセル 出演数:6団体 入場者数:750人				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	音楽祭出演団体数	団体	6	6	6	6	
イ							
ウ							
③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	市民	霧島市の人口	人	127,662	127,512	128,868	129,098
イ							
ウ							
⑤ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	霧島市民音楽祭に関心を持ってもらう	市民音楽祭を鑑賞した人の数	人	827	716	750	750
イ	霧島国際音楽祭に関心を持ってもらう	霧島国際音楽祭を鑑賞した人の数	人	14,047	15,304	15,000	15,000
ウ							
⑦ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人	24,104	26,454	23,178	23,170
イ							

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	22年度(決算)	1,420	23年度(予算)	1,393	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 霧島国際音楽祭が霧島市で開催され、平成21年度で30回を迎えるにあたり、この音楽祭の市民への周知と盛り上げを図るため、霧島国際音楽祭招待アーティスト等と市民参加の音楽祭として開催した。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 霧島市民音楽祭を開催することにより、霧島国際音楽祭への関心が高まるとともに、市民の音楽文化の向上が図られている。
	補正予算額		0				
	予算合計		1,420		1,393		
決算額	国庫補助金		0			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 小・中学校並びに一般の音楽団体が一堂に会しての演奏会は、市民の音楽レベルの向上と、音楽文化の発展に大きく寄与している。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		0				
	一般財源		1,258				
支出合計		1,258					

事務事業コード	774226	事務事業名	霧島市民音楽祭開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	1,258		1,258	1,393		1,393	1,393		1,393
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,258		1,258	1,393		1,393	1,393		1,393

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,258		1,258	1,393		1,393	1,393		1,393
計	1,258		1,258	1,393		1,393	1,393		1,393

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成22年度	当初予算	1,420千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	1,420千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	774226	事務事業名	霧島市民音楽祭開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民音楽祭を開催することによる舞台芸術活動の発表機会と鑑賞機会の提供は、日常生活に生甲斐と潤いを与え、文化の薫り高いまちづくりにつながり妥当である。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民が心豊かで質の高い生活と創造性に富んだ活力ある地域社会を築くため、市の関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	より多くの市民が優れた舞台芸術に触れることにより音楽の良さを再認識することができ、また、出演者も市内で活動している団体に広く呼びかけていることから妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	市民の参加者状況は良好で満席となっており、来場された方々も非常に満足して帰られるので十分成果は出ているが、今後は幅広い音楽ジャンルを提供するため、出演団体の選出等に配慮をしていきたい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市民が参加する演奏会であり、舞台芸術活動の発表機会や鑑賞機会が減少する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	出演団体のリハーサルを前日に実施していたが、日程の調整を図ることで、音楽祭当日のみとすることで、バスの借り上げ料などを削減に努める。また、国際音楽祭との連携等により、チラシを両面活用するなど、経費の削減に努める。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	実行委員会に運営委員会(実働)を設置したり、スタッフの公募などによって、開催時の役割分担を図り、職員の負担軽減に努めることができる。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民全体に呼びかけて、開催するため公平である。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民音楽祭を霧島国際音楽祭招待アーティスト等と市民参加の音楽祭として、今後も継続して取り組み、より市民に身近な音楽祭に育成する必要がある。また、邦楽や民族音楽等の出演にも心がけ、幅広い音楽に触れる音楽祭としたい。特に、ゲスト出演者による音楽指導(クリニック)は非常に効果があり、今後も続けていきたい。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取り組み概要及び期待される効果 昨年度に引き続き、ゲスト出演者による音楽指導(クリニック)を実施する。当日のスタッフの募集を実施する。 日本を代表する音楽家による指導により、演奏技術の向上はもとより、吹奏楽に取り組む考え方も含め、大きく成長していくことを期待したい。 スタッフ(ボランティア)による運営を展開することで、これまで以上に市民による手づくりの音楽祭としていきたい。	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容 市民音楽祭にふさわしく、あらゆるジャンルの音楽に参加していただくため、出演団体の選考に配慮していきたい。また、市民による音楽祭とするため、市民スタッフ(ボランティア)を積極的に取り入れていきたい。 平成24年度は5回目の節目の年であるため、事業内容の見直しも含め、より市民に親しまれる音楽祭としていきたい。

事務事業コード	774211	事務事業名	霧島美術展開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	芸術文化グループ
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		電話番号	42-1119
基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 16 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	款	10	教育費		
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	
	目	6	文化振興費		
コード	774211				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績				
県内在住者及び環霧島会議宮崎県側市町の高校生以上から美術作品(絵画)を公募し優秀作品を展示表彰する。今回は子ども絵画展を同時開催とした。ジオパークに関しては環霧島の地質遺産を取り入れた作品も加えて募集した。 実行委員会を組織して次のような業務を行なう。 ①実行委員会(開催要項決定など) → ポスター・チラシ作成 → 広報 ②搬入(受付作業) ③審査 ④入賞作品展示→表彰式 ⑤搬出 ⑥実行委員会(精算事務)			霧島市制50周年を記念として、霧島美術展に子ども絵画展部門を組入れた。 展示期間 9月18日~10月1日 応募総数 977点 応募人数 903人 入選以上 248点				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	出品点数	点	305	977	1,000	1,000	
イ	出品者数	人	188	903	950	950	
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	市民及び美術愛好家	市民の数	人	127,662	127,512	128,868	129,098
イ	県民及び美術愛好家	県民+環霧島会議加盟市町の数	人	1,795,070	1,786,130	1,773,432	1,763,052
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	市民の美術に対する関心を高める	美術展入場者数	人	1,000	1,400	2,400	2,400
イ							
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人	24,104	26,454	23,178	23,170
イ							

(2) 事業費		単位:千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
	22年度(決算)	23年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 平成16年に旧国分市制50周年を記念して、市の美術協会を中心として開始された。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 合併に伴い、旧霧島町で開催されていた8号洋画展も合体して開催するようになり、出品者数も増加している。また、回を重ねる毎に作品のレベルが向上している。子ども絵画展を同時開催している。	
予算額	当初予算額	1,175			1,175
	補正予算額	0			
	予算合計	1,175	1,175		
決算額	国庫補助金	0	③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 霧島市美術協会及び行政を主体として実行委員会を設置し、美術展の運営を行っているが、行政のみで運営してほしいという意見が強い。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 平成21年 第1回定例議会 「霧島市美術展の今後について」 ・霧島市美術展がスタートして5回を数えるが、現状と課題について。 ・霧島市美術展を総合美術展として発展させる考えはないか。	
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	1,171			
	支出合計	1,171			

事務事業コード	774211	事務事業名	霧島美術展開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	1,171		1,171	1,175		1,175	1,175		1,175
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,171		1,171	1,175		1,175	1,175		1,175

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	1,171		1,171	1,175		1,175	1,175		1,175
計	1,171		1,171	1,175		1,175	1,175		1,175

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成22年度	当初予算	1,175千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	1,175千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	774211	事務事業名	霧島美術展開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	美術に触れる機会の提供は美術に関する知識と教養の向上につながり、市民が芸術文化活動に取り組むきっかけとなる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	鑑賞、発表する機会の提供は、文化振興の向上につながり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市民を対象に、美術への関心を高めることを目指しており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	展示場所や展示方法を工夫することにより、美術作品に触れる人を増やすことは可能である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	美術に対する感動・関心の向上により地域活性化に与える影響は大きい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	平成19年度に出品料を値上げしており、今後の出品料の増額は見込めないが、ポスター・パンフレット等の見直しなど事務費のコスト削減を実施していきたい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	以前は職員対応としてきた、絵画の搬入・搬出作業や事務入力作業を、外部に委託することにより、職員の業務時間を削減した。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民を対象に開催されており、適正である。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		霧島美術展も7回を数え、恒例行事として定着しつつあるが、まだまだ周知化を図る必要がある。展示会場については、シビックセンターでの展示終了後、巡回展ができないか検討していきたい。また、審査から展示までの日程、職員の事務量の削減はこれ以上望めないが、事業費については削減や広告料収入など見直す必要がある。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果 ・平成22年度から経費確保のため、広告収入を取り入れたが、引き続き実施していきたい。 ・シビックセンターでの展示終了後、巡回展を検討していきたい。 ・ボランティアの更なる募集をかける。 経費の削減を進めるとともに、市民に関心をもてる美術展としていきたい。	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容 ・広告収入の確保 ・ボランティアスタッフの充実 ・展示方法の工夫 ・巡回展の実施

事務事業コード	774214	事務事業名	溝辺たかや太鼓保存会運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	溝辺出張所教育振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	教育グループ
基本事業名	3	スポーツ、芸術文化団体の育成		電話番号	58-3191
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 63 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774214				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)

溝辺たかや太鼓保存会の運営費補助として補助金を交付している。
 (市の活動) 当保存会に補助金を支出するための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。また、運営の指導助言を行っている。
 (保存会の活動) 週1回の練習を行い、演奏技術の向上を図り、市主催行事や民間からの演奏依頼に応じている。最近では、小学生の加入もあり、成人と活動を共にすることにより、社会教育活動の一環として青少年健全育成に努めている。
 ※溝辺たかや太鼓保存会とは、町興し事業の一環として旧溝辺町が発足した団体。

補助金・負担金の交付先	溝辺たかや太鼓保存会	補助金の対象経費	溝辺たかや太鼓保存会の運営に要する経費			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込)	24年度 (見込)
ア 太鼓演奏を披露した回数		回	3	0	3	4
イ						
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込)	24年度 (見込)
ア 溝辺たかや太鼓保存会会員	補助対象団体の会員数	人	15	15	15	15
イ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込)	24年度 (見込)
ア 自主的に参画する会員を増やすため、団体の魅力を発信する	太鼓演奏を披露した回数	回	3	0	3	4
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込)	24年度 (見込)
ア 芸術文化活動を通じ互いに交流することで親睦を図る	芸術文化団体・組織の数	団体	238	229	253	253
イ	芸術文化団体・組織の会員数	人	4,077	3,794	4,433	4,433

(2)事業費		単位：千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
	22年度 (決算)	23年度 (予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 昭和63年8月、旧溝辺町において町興し事業の一環として発足した。太鼓は、旧溝辺町が備品として購入。打ち子は広く町民に呼びかけ、成人男女約30人が応募した。同時に保存会を立ち上げるとともに、活動運営に係る経費助成を図るため補助金の交付を開始した。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 会員が当初成人のみであったが、現在は小学生も会員になっている。	
予算額	当初予算額	30			27
	補正予算				
	予算合計	30	27		
決算額	国庫補助金		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 活動が知られることにより、地域やイベント主催者からの出演依頼がある。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	30			
支出合計	30				

事務事業コード	774214	事務事業名	溝辺たかや太鼓保存会運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	溝辺出張所教育振興課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成22年度 (決算)		平成23年度 (予定)		平成24年度 (予定)		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	
1	溝辺たかや太鼓保存会									15	30	27	27	33	33	
	対象地区			○						合計	63	合計	62	合計	60	
										自主財源率	52%	自主財源率	56%	自主財源率	55%	
2																
	対象地区									合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
3																
	対象地区									合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
4																
	対象地区									合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5																
	対象地区									合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6																
	対象地区									合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7																
	対象地区									合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8																
	対象地区									合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9																
	対象地区									合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
10																
	対象地区									合計		合計		合計		
										自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計										15	補助金負担金合計	30	補助金負担金合計	27	補助金負担金合計	27
											自主財源合計	33	自主財源合計	35	自主財源合計	33
											自主財源率	52%	自主財源率	56%	自主財源率	55%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名		平成22年度 (決算)	平成23年度 (計画)	平成24年度 (予定)	負担金の支払先			
	負担金額					全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

■平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	30
補正予算	
合計	30

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	774214	事務事業名	溝辺たかや太鼓保存会運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	溝辺出張所教育振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大人から子どもまで太鼓を通じ交流を深めており、併せて地域おこし、ふるさとづくりに寄与している。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	住民の地域おこしの一環を支援することは、行政の責務である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	たかや太鼓保存会会員を対象に、団体の魅力を発信することを意図しており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	太鼓演奏を披露する機会をより多く設け、団体の魅力を発信することで成果向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	補助により団体活動の活性化に繋がっているため、廃止により、保存会の衰退していく可能性がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	自主財源率も半分を超えており、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員の業務としては、補助金交付事務と各種イベントへの参加調整のみであり、削減に余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	小学生以上なら会員になりたい人は誰でもなれるため公平である。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		保存会の活性化を図るため、地域の行事などでの発表の機会を確保するなど支援をしていく。平成22年度は練習は実施したが、人数等の調整ができず、発表の機会はなかった。会員数の減少で活動が停滞しているところもあるため、会員の募集を図っていききたい。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
・発表の場を確保して団体の活性化を図る。 ・大人の会員増を目指す。 大人から子どもまで太鼓を通じ交流を深めて、併せて地域おこしやふるさとづくりに寄与する。	・大人の会員増を目指す。 ・各イベントへの参加を促す。

事務事業コード	774216	事務事業名	文化協会運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	3	スポーツ、芸術文化団体の育成		電話番号	42-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 18 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774216				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)

霧島市文化協会に運営費の補助として補助金を支出していると同時に運営の助言を行っている。
霧島市文化協会は、市内で文化活動を目的とする各種団体及び同好会が相互の連絡協調を図り研さんを深めるために結成している任意団で、霧島市文化協会の傘下には、旧市町ごとに支部文化協会を置き運営を行っている。

【活動内容】
霧島市文化協会:霧島市芸術祭、会報霧島の発行、総会の開催
文化協会支部 :研修会・文化祭の実施、支部文化協会だよりの作成、チャリティショー(隼人・国分)

【事務事業】
補助金交付に係る諸手続き、文化協会活動に対する指導・助言

補助金・負担金の交付先	霧島市文化協会	補助金の対象経費	霧島市文化協会の運営に要する経費			
② 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア 文化協会による文化事業の開催数(文化祭、チャリティショーなど)	回	10	11	10	10	
イ 文化協会による文化事業への参加団体数	団体	250	251	246	246	
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア 文化協会団体	文化協会団体数	団体	238	229	229	229
イ 文化協会会員	文化協会会員数	人	4,077	3,815	3,850	3,850
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア 会員相互で研鑽を深め、充実した文化活動を行う。	会員相互で研鑽を深め、充実した文化活動を行った人の割合	%	未把握	75	76	77
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア スポーツ、芸術文化活動を通じ互いに交流することで親睦を図る。	芸術文化団体・組織の数	団体	238	229	253	253
イ スポーツ、芸術文化活動に取り組む仲間が増える。	芸術文化団体・組織の会員数	人	4,077	3,794	4,433	4,433

(2)事業費		(3)事務事業の環境変化・住民意見等			
	22年度(決算)	23年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?		② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
当初予算額	2,017	1,916	市の合併を契機に平成18年5月に霧島市文化協会が設立され、旧文化協会個別に交付していた補助金を一本化したことにより本事業を開始した。なお、旧市町の文化協会は支部として活動を継続している。		全体的に活動内容は活発であるが、会員の減少に伴い活動が停滞している地区もある。
補正予算					
予算合計	2,017	1,916			
決算額	国庫補助金		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?		④ この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金		文化協会への加盟団体や会員数の減少が続いているので、より積極的な取組みをしてほしい。		特になし
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,017			
支出合計	2,017				

事務事業コード	774216	事務事業名	文化協会運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成22年度 (決算)		平成23年度 (予定)		平成24年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	霧島市文化協会									補助金	2,017	補助金	1,916	補助金	1,916
										自主財源	447	自主財源	478	自主財源	478
	合計									2,464		2,394		2,394	
対象地区									自主財源率	18%	自主財源率	20%	自主財源率	20%	
2										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
対象地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
対象地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
対象地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
対象地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
対象地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
対象地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
対象地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
対象地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
対象地区									自主財源率		自主財源率		自主財源率		
計									補助金負担金合計	2,017	補助金負担金合計	1,916	補助金負担金合計	1,916	
									自主財源合計	447	自主財源合計	478	自主財源合計	478	
									自主財源率	18%	自主財源率	20%	自主財源率	20%	

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名		平成22年度 (決算)	平成23年度 (計画)	平成24年度 (予定)	負担金の支払先			
	負担金額					全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
合計									

■平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	2,017
補正予算	
合計	2,017

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	774216	事務事業名	文化協会運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化協会による文化活動を日常生活の中に積極的に取り入れてもらうことは、本市全体の芸術文化の振興につながる。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化協会を核とする文化団体に市が支援することは霧島市の芸術文化向上に寄与していることから妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	文化協会会員、団体を対象に、充実した文化活動を行うために助成していることは、結果として本市の芸術文化向上に寄与していることから、対象・意図とも適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	文化協会等の組織の充実を図り、積極的な文化活動を展開し、新たな会員や新規団体の掘り起こしを行う。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化活動の停滞や地域の文化活動の担い手が減少する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	会費の値上げや自主財源の確保により、事業費の削減は可能である。しかし会費の値上げは協会から退会する可能性がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、文化協会は事務局を設け、文化協会の運営に関する事務は全て協会が実施している。職員の業務としては、補助金の交付と文化祭等の主な行事の補助であり、最小限の事務量である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化祭等、市民を対象に開催されている。また、それぞれの会員が文化協会費を負担している。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		全体的に積極的な活動がなされ、運営も自立している。しかしながら、会員の高齢化が進みつつあり、今後は若年層や新しい会員の入会促進が課題と思われる。また、自主財源率が低く補助金への依存度が高いので、会費の増加や広告収入などによる自主財源の確保が課題である。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
・霧島市文化協会においては、霧島市芸術祭の実施、会報「きりしま」の刊行。 ・各支部においては、文化祭、チャリティーショー等の実施。 ・積極的な文化活動を展開や活動内容の周知を図ることにより、組織の充実と新たな会員や新規団体の掘り起こしにつながる。	・霧島市芸術祭や文化祭、チャリティーショー等の充実を図る。 ・事業費の有効活用や、会費の見直しについて協会に働きかけを行っていきたい。 ・個人会員の加入を認めることにより、会員の増加を図る。

事務事業コード	774318	事務事業名	「霧島市を知る」ハンドブック作成事業		担当部	教育部	
					担当課	文化振興課	
政策名	4	育み磨きあうまちづくり			グループ	文化財グループ	
施策名	4	伝統文化の保存・継承			電話番号	42-1111	
基本事業名	1	伝統文化を学ぶ			内線番号	5201	
予算科目	会計	一般会計			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 21 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	款	10	教育費			根拠法令・条例等	文化財保護法、霧島市文化財保護条例
	項	6	社会教育費				
	目	7	文化財保護費				
コード	774318						
関連計画							

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績			
霧島市は古くは縄文時代から天孫降臨、クマツ・ハヤト伝説、大隅国の建国、島津氏の台頭など歴史的な文化財が多く点在している。そこで、新霧島市の合併に伴い、「霧島市を知る」をテーマとした事業を展開し、その一環として市内にある文化財をテーマ毎に紹介したハンドブックを作成する。市民へ販売予定。			市内各地区の田の神158基を調査した資料をまとめ、ハンドブックを刊行した。			
・事業実施年度 当面、平成21年度～平成30年度とする。(事業延長の可能性あり) ・刊行予定(テーマ):①霧島の田の神 ②霧島の石造文化財 ③霧島の神社 ④霧島の郷土芸能 ⑤霧島の城郭 ⑥霧島の史跡(石造物) ⑦霧島の遺跡 ⑧霧島の年中行事 ⑨霧島の天然記念物 ⑩霧島の石造物(石橋、石倉、水門、井堰) など ・パンフレット作成数 :2000冊 ・パンフレットは販売する予定 :500円(1冊)			発行部数:2000部			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	霧島市を紹介する資料(刊行する冊子の数)	冊	0	2,000	2,000	2,000
イ	調査した文化財の数	件	158	119	100	50
ウ						
③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	市民	人	127,662	127,512	128,868	129,098
イ						
ウ						
⑤ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	ハンドブックで霧島市の文化財を知る	冊	0	243	600	600
イ						
ウ						
⑦ 結 果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	地域の伝統文化を学び郷土を知ることができる。	人	80.8	80.9	74.0	75.0
イ						

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	900	900	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 文化財を後世に伝えていくためには、文化財に対する市民の認識を高めることが重要である。そこで、市内の現存する文化財を調査し、市民に分かり易く周知するため、ハンドブック(オールカラー)作成することとした	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? ・調査を初めて、把握していない文化財が多数明らかになってきた。 ・文化財の盗難や紛失が多くなって来ている。 ・文化財に興味を示す人が増えてきている。
	補正予算額	0			
	予算合計	900	900		
決算額	国庫補助金	0		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? ・市民から市内に点在している文化財の種類や数、場所を知りたいという人が増えてきている。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	121			
	一般財源	741			
支出合計	862				

事務事業コード	774318	事務事業名	「霧島市を知る」ハンドブック作成事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	204		204	215		215	215		215
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	658		658	685		685	685		685
消耗品費	15		15	15		15	15		15
燃料費	3		3	10		10	10		10
食料費									
印刷製本費	640		640	660		660	660		660
光熱水費									
修繕料									
12 役員費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	862		862	900		900	900		900

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	121		121	300		300	300	
一般財源	741		741	600		600	600		600
計	862		862	900		900	900		900

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成22年度	当初予算	900千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	900千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳	
ハンドブック販売	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774318	事務事業名	「霧島市を知る」ハンドブック作成事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	ハンドブックを作成することで市民が市内の文化財を正しく知ると共に、現存する文化財が後世に残る(記録保存)。結果として、地域の伝統文化を学び、地域を知ることができるという政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	伝統文化を市民に周知し、本市の歴史・文化への理解を深めてもらうことは市の役割である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は市民と文化財とし、それぞれ文化財を知ることと、後世に伝えることを意図しており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	毎年ジャンルごとの文化財を調査し、その成果をより多くの市民に購入してもらうことで成果は向上していく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	消失する文化財も少なくなく、また、伝承されてきた無形の文化財も高齢化や核家族化に伴って失われつつあるため、早期の調査や記録保存が必要である。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	調査員の導入や職員による報告書の作成(原稿作成)まで行っており、これ以上のコスト削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	専門家による執筆依頼や文化財の所在地などは市民に情報提供を呼びかけたり、また調査員の導入などを図るなどして、職員の業務時間を削減している。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	刊行されたハンドブックは、市民に有償で販売することで、受益と負担の公平性が保たれる。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	平成21年度に調査した文化財(田の神)を取りまとめ、専門的な部分については専門家に原稿依頼を実施して、ハンドブック(第2弾)を2000部刊行した。市民からの反応(購入)も好調である。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
平成23年度は霧島の石造文化財の調査を行うこと調査報告書(ハンドブック)を作成し、ハンドブックの販売及び文化財や歴史に興味を持つ市民の増加を図りたい。 地域の文化財等に詳しい方々を調査員として募集し、効率的な調査に努める。(調査員の登録)	・文化財の消失など、緊急性の高い文化財を優先して調査を進めていきたい。 ・山城(中世城)など、テーマによっては調査が数年を要するものもあるので、年次的に計画的に調査を進めていきたい。 ・調査員の確保に努めることと、調査(ハンドブックの作成)をスムーズに進めるため調査計画の見直しを行う。

事務事業コード	774319	事務事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	文化財グループ
施策名	4	伝統文化の保存・継承		電話番号	42-1111
基本事業名	2	保存団体への支援		内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 50 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等理念条例 霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774319				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)

昔から受け継がれてきた郷土芸能を絶やさないために、郷土芸能保存団体に対して活動補助をする。また、出演の機会の提供を行う。
 主な業務の内容
 ①郷土芸能保存活動事業費補助金(運営補助)
 ②イベント等への出演依頼(天孫降臨霧島祭、各地区の文化祭、学校行事等)
 ③第1回霧島市郷土芸能祭の開催 → 実行委員会方式で開催

郷土芸能保存団体の活動
 ①郷土芸能の保存継承
 ②地域の行事やイベントでの郷土芸能の発表

補助金・負担金の交付先	郷土芸能保存会	補助金の対象経費	郷土芸能を継承するための運営補助				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	運営補助している郷土芸能保存会の数(運営補助している団体数)	団体	16	16	16	16	
イ	霧島市郷土芸能祭に参加する保存団体の数	団体	未実施	7	7	7	
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	保存団体	霧島市内の郷土芸能保存団体数	団体	44	43	44	44
イ	市民	霧島市の人口	人	127,662	127,512	128,868	129,098
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	郷土芸能が保存・継承される	団体の会員数が増えた団体数	団体	3	2	2	2
イ	伝統文化にふれる機会を持つ	団体の発表の数	回	35	36	37	37
ウ	伝統文化にふれる機会を持つ	霧島市郷土芸能祭を鑑賞した市民の数	人	未実施	700	800	800
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	伝統文化を継承し、広めてもらう。	発表を行っている団体の数	件	45	38	44	44
イ							

② 事業費		単位：千円		③ 事務事業の環境変化・住民意見等	
	22年度(決算)	23年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？		② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
予算額	当初予算額	1,046	991	郷土に受け継がれてきた伝統芸能を後世に残すため。また、後継者を育成するために始められた。運営補助としては、昭和50年代から実施している。	生活文化の多様化や急速な社会変化により地域の連帯感が薄れ、地域の伝統文化などを継承する社会力が低下している。保存会会員の高齢化が進み、郷土芸能保存会を継承する人が少なくなっている。
	補正予算額				
	予算合計	1,046	991		
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？ 地域による伝統文化の継承活動に要する経費(補助金)についてはこれまでどおり継続してほしいと、市民や保存会からの声が多い。市民やイベント関係者等から民俗芸能を披露してもらいたいとの要望が寄せられている。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	964			
支出合計	964				

事務事業 コード	774319	事務 事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業						担当部	教育部
									担当課	文化振興課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成22年度 (決算)		平成23年度 (予定)		平成24年度 (予定)		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	
1	下井道化踊り保存会									19人	補助金	40	補助金	36	補助金	36
											自主財源	40	自主財源	47	自主財源	47
											合計	80	合計	83	合計	83
										自主財源率	50%	自主財源率	57%	自主財源率	57%	
2	清水田の神舞保存会									13人	補助金	36	補助金	45	補助金	45
											自主財源	111	自主財源	51	自主財源	55
											合計	147	合計	96	合計	100
										自主財源率	76%	自主財源率	53%	自主財源率	55%	
3	敷根琉球人踊り保存会									31人	補助金	36	補助金	30	補助金	30
											自主財源	54	自主財源	40	自主財源	55
											合計	90	合計	70	合計	85
										自主財源率	60%	自主財源率	57%	自主財源率	65%	
4	重久神舞保存会									18人	補助金	37	補助金	32	補助金	32
											自主財源	95	自主財源	106	自主財源	106
											合計	132	合計	138	合計	138
										自主財源率	72%	自主財源率	77%	自主財源率	77%	
5	重久太鼓踊り保存会									26人	補助金	63	補助金	52	補助金	52
											自主財源	70	自主財源	67	自主財源	67
											合計	133	合計	119	合計	119
										自主財源率	53%	自主財源率	56%	自主財源率	56%	
6	竹子棒踊り保存会									37人	補助金	45	補助金		補助金	
											自主財源	63	自主財源		自主財源	
											合計	108	合計		合計	
										自主財源率	58%	自主財源率		自主財源率		
7	府中太鼓踊り保存会									23人	補助金	63	補助金	52	補助金	52
											自主財源	94	自主財源	98	自主財源	98
											合計	157	合計	150	合計	150
										自主財源率	60%	自主財源率	65%	自主財源率	65%	
8	小脇郷土芸能保存会									11人	補助金	33	補助金	35	補助金	35
											自主財源	18	自主財源	18	自主財源	18
											合計	51	合計	53	合計	53
										自主財源率	35%	自主財源率	34%	自主財源率	34%	
9	三体棒踊り保存会									19人	補助金	45	補助金	45	補助金	45
											自主財源	241	自主財源	231	自主財源	231
											合計	286	合計	276	合計	276
										自主財源率	84%	自主財源率	84%	自主財源率	84%	
10	万膳太鼓踊り保存会									24人	補助金	45	補助金	45	補助金	45
											自主財源	20	自主財源	15	自主財源	15
											合計	65	合計	60	合計	60
										自主財源率	31%	自主財源率	25%	自主財源率	25%	
11	田口棒踊り保存会									52人	補助金		補助金	31	補助金	31
											自主財源		自主財源	43	自主財源	43
											合計		合計	74	合計	74
										自主財源率		自主財源率	58%	自主財源率	58%	
12	田口田の神舞保存会									20人	補助金	26	補助金	31	補助金	31
											自主財源	1	自主財源	1	自主財源	1
											合計	27	合計	32	合計	32
										自主財源率	4%	自主財源率	3%	自主財源率	3%	
13	霧島俵踊り保存会									45人	補助金	31	補助金	31	補助金	31
											自主財源	37	自主財源	45	自主財源	45
											合計	68	合計	76	合計	76
										自主財源率	54%	自主財源率	59%	自主財源率	59%	
14	栢田棒踊り保存会									25人	補助金		補助金	25	補助金	25
											自主財源		自主財源	55	自主財源	55
											合計		合計	80	合計	80
										自主財源率		自主財源率	69%	自主財源率	69%	

15	川路原刀踊り保存会								15人	補助金	24	補助金	25	補助金	25	
										自主財源	26	自主財源	26	自主財源	26	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	50	合計	51	合計	51	
										○	自主財源率	52%	自主財源率	51%	自主財源率	51%
16	新原鎌踊り保存会								32人	補助金	25	補助金	25	補助金	25	
										自主財源	26	自主財源	26	自主財源	26	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	51	合計	51	合計	51	
										○	自主財源率	51%	自主財源率	51%	自主財源率	51%
17	霧島市郷土芸能祭実行委員会（委託料）									補助金	364	補助金	451	補助金	451	
										自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計	364	合計	451	合計	451	
										●	自主財源率		自主財源率		自主財源率	
18										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
19										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
20										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	合計		合計		合計		
											自主財源率		自主財源率		自主財源率	
計									221人	補助金負担金合計	913	補助金負担金合計	991	補助金負担金合計	991	
											自主財源合計	896	自主財源合計	869	自主財源合計	888
											自主財源率	50%	自主財源率	47%	自主財源率	47%

■負担金の状況

単位：千円

	団体名・協議会名	負担金額	平成22年度 (決算)	平成23年度 (計画)	平成24年度 (予定)	負担金の支払先			
						全国	九州	県	その他
1		負担金額							
2		負担金額							
3		負担金額							
4		負担金額							
5		負担金額							
		合計							

■平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	1,046	第1回		第4回		第7回	
補正予算		第2回		第5回		第8回	
合計	1,046	第3回		第6回			

事務事業コード	774319	事務事業名	郷土芸能保存団体運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土芸能保存団体支援事業を実施することで、郷土芸能保存会が運営や後継者育成に積極的になることにより、市民に対しても披露する機会が増え、郷土芸能に対する意識の高揚が図られる。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の保存・活用は、地方自治法で地方公共団体の責務と規定されており、特に伝承者が途絶えると復活が困難である郷土芸能(無形民俗文化財)への支援は市が行わなければならない事務事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	郷土芸能保存会へ支援することにより、円滑な運営と後継者の育成、さらには市民への周知などが充実することから、対象・意図とも妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	高齢化に伴う後継者不足が切実な問題となっているが、会員数が増える団体が出てくれば、本事業の成果は向上すると思われるので、さらに、これまで以上に各保存団体が出演する機会の提供を行ってほしい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	無形民俗文化財(郷土芸能、年中行事など)が一度途絶え、これを再び復活するには非常に難しい。このようなことから、本事業を継続する必要がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 単人町民芸保存会運営支援事業
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	合併以来保存会への運営補助は大幅に削減してきており、これ以上削減することは厳しい状況である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事務事業は郷土芸能保存会への運営補助並びに出演の機会の提供を実施しており、保存会の活性化を図るには、今まで以上の出演の機会を増やす必要がある。そのため、職員の業務はこれまで以上に増える可能性がある。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本来、文化財は国民共有の財産であり、とりわけ郷土芸能はその地域の風土を色濃く残すものである。これらのことを考慮すると、保存会に対し行政が支援することはやむを得ないことである。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	保存会の高齢化や会員数の減少傾向はこれまで以上に深刻化を増すとされる。そのためには、保存会の育成を、地域全体で保存を考える必要がある。発表の機会についても、第1回霧島市郷土芸能祭を初めて開催した。また、地域の行事等で出演の機会が若干ではあるが増加しているのではと考えている。引き続き発表の機会の増について支援を行う必要がある。
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑤の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果 ・郷土芸能を発表する場として、平成22年度に引き続き、第2回郷土芸能祭を開催する。 ・単人町民芸保存会運営支援事業との統合の可能性について協議を行う。	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容 ①霧島市郷土芸能祭開催の継続 ②各種イベント等への出演促進 ③市全体の郷土芸能保存団体を統括する、仮称「霧島市郷土芸能保存会」の結成

事務事業コード	774225	事務事業名	霧島神楽振興会運営支援事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	教育振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	教育グループ
基本事業名	2	保存団体への支援		電話番号	57-1111
				内線番号	5840
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 8 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774225				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)

平成8年に霧島地区に伝わってきた「霧島神楽」を約80年ぶり復活した。この貴重な郷土芸能を後世に伝える為、振興会の運営を支援するため助成するものである。
 <振興会の活動内容>
 ・伝統芸能伝承のための定期練習会の開催
 ・天孫降臨霧島祭への参加(例年)、公民館講座の指導、きりしまチャレンジャーでの神楽指導、など
 <事務事業>
 ・補助金交付に係る諸手続き

補助金・負担金の交付先	霧島神楽振興会	補助金の対象経費	霧島神楽振興会の運営に要する経費				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	霧島神楽振興会公演回数	回	25	24	25	25	
イ	講習の延回数	回	28	28	25	25	
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	市民	市民	人	127,662	127,512	128,868	129,098
イ	神楽振興会会員	神楽振興会会員数	人	42	38	40	41
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	霧島神楽を知ってもらう	南九州神楽祭り入場者数	人	620	0	700	750
イ	霧島神楽を伝承する	伝承のための講習会への参加人数	人	225	329	340	350
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	伝統文化を継承し、広めてもらう	郷土芸能に関わる人数(団体登録者)	団体	2,515	2,650	2,450	2,450
イ							

(2) 事業費		単位：千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
	22年度(決算)	23年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 旧霧島町内の民家で270年前の古文書が発見され、その中に霧島神楽が現存していた記述があった。そこで町民の関心を高めようと波野村の「中江戸神楽」と古文書を参考に復活させた。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 発足当時は数十名いた会員も高齢化や職場の異動(役場職員もかなり居た)により、少しずつ遠退いてゆき、今では40名ほどで活動している。しかし、近年、新規会員の加入もあり、やや活気付いてきている。	
予算額	当初予算額	429			407
	補正予算				
	予算合計	429			407
決算額	国庫補助金		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 地域住民から霧島神楽を大切に守り伝えていくべきだという意見が寄せられている。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし	
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	429			
	支出合計	429			

事務事業コード	774225	事務事業名	霧島神楽振興会運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	教育振興課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									会員数	平成22年度 (決算)		平成23年度 (予定)		平成24年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山		補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	霧島神楽振興会									38人	補助金	429	補助金	407	補助金	407
											自主財源	360	自主財源	360	自主財源	360
	合計										789	767	767			
2										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
	合計															
3										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
	合計															
4										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
	合計															
5										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
	合計															
6										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
	合計															
7										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
	合計															
8										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
	合計															
9										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
	合計															
10										補助金		補助金		補助金		
										自主財源		自主財源		自主財源		
	合計															
計										38人	補助金負担金合計	429	補助金負担金合計	407	補助金負担金合計	407
											自主財源合計	360	自主財源合計	360	自主財源合計	360
											自主財源率	46%	自主財源率	47%	自主財源率	47%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									負担金額	平成22年度 (決算)	平成23年度 (計画)	平成24年度 (予定)	負担金の支払先			
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山					全国	九州	県	その他
1										負担金額							
2										負担金額							
3										負担金額							
4										負担金額							
5										負担金額							
合計																	

■平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	429
補正予算	
合計	429

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	774225	事務事業名	霧島神楽振興会運営支援事業	担当部	教育部
				担当課	教育振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土芸能保存団体支援事業を実施することで、郷土芸能保存会が運営や後継者育成に積極的になることにより、市民に対しても披露する機会が増え、伝統文化を継承し、広めてもらうことにつながる。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の保存・活用は、地方自治法で地方公共団体の責務と規定されており、特に伝承者が途絶えると復活が困難である郷土芸能(無形民俗文化財)への支援は市が行わなければならない事務事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	郷土芸能保存会へ支援することにより、円滑な運営と後継者の育成、さらには市民への周知などが充実することから、対象・意図とも妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	地域の行事や運動会、文化祭、市主催の行事など、これまで以上に振興会が出演する機会の提供を図ることで、振興会の活性化や後継者育成に結びつけて行くことができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	無形民俗文化財(郷土芸能、年中行事など)が一度途絶え、これを再び復活するには非常に難しい。このようなことから、本事業を継続する必要がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	合併以来保存会への運営補助は大幅に削減してきており、これ以上削減することは厳しい状況である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事務事業は振興会への運営補助並びに出演の機会の提供を実施しており、保存会の活性化を図るには、今まで以上の出演の機会を増やす必要がある。そのため、職員の業務はこれまで以上に増える可能性がある。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金の一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本来、郷土芸能は国民共有の財産であり、その地域の風土を色濃く残すものである。これらのことを考慮すると、振興会に対し行政が支援することはやむを得ないことである。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		平成22年度天孫降臨霧島祭に出演するため準備を進めていたが、口蹄疫発声のため中止となった。しかし、地域の行事への出演やみやまコンセールでの定期的な発表を行っている。今後は振興会の活性化を図るため、後継者の育成や新たな座の創設などに取り組むことが必要と考える。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
・各種イベント等への出演や神楽講座の実施。 ・霧島神楽を周知するとともに、振興会の活性化を図る。 ・古くから霧島に残る神楽を鑑賞することにより、霧島市の歴史を再確認するとともに、郷土芸能への関心が高まる。	・これまで出演してきたイベント等以外にも積極的に出演できるように、関係者との連携を図っていく。 ・まだ復活していない神楽を、歴史書や類似の神楽等をもとに調査研究していきたい。

事務事業コード	774313	事務事業名	緊急埋蔵文化財発掘調査事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	3	文化財の保存・整備		電話番号	42-1111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度～)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	文化財保護法、霧島市文化財保護条例
コード	774313				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績			
埋蔵文化財が包蔵されている土地において開発行為により、破壊される埋蔵文化財を事前に発掘調査し、その成果を報告書にまとめ、記録保存として遺跡を後世に残す。 (事務事業内容) ・開発行為に伴う試掘調査、確認調査(市負担) ・民間による開発行為に伴う緊急埋蔵文化財発掘調査(民間負担) ・公共事業に伴う緊急埋蔵文化財発掘調査(市負担)			公共事業に伴う緊急埋蔵文化財発掘調査を実施した。また、民間による緊急埋蔵文化財発掘調査はなかった。			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	緊急埋蔵文化財発掘調査の数	件	5	4	3	3
イ	発掘調査報告書の数	冊	600	0	300	300
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	周知の埋蔵文化財包蔵地	カ所	523	524	525	526
イ	市民	人	127,662	127,512	128,868	129,098
ウ						
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	遺跡が記録保存される	件	5	4	3	3
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	文化財を適切に保存し、後世に残す。	件	684	690	700	710
イ						

(2) 事業費		単位:千円	
		22年度(決算)	23年度(予算)
予算額	当初予算額	12,001	16,864
	補正予算額	-9,306	
	予算合計	2,695	16,864
決算額	国庫補助金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	850	
	支出合計	850	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？
昭和25年文化財保護法の制定に伴い、埋蔵文化財の保護について取組んできた。霧島市においても平成17年度(合併当初)から緊急な発掘調査に対応するため予算を計上している。	緊急に発掘調査を実施するケースが増えてきており、工事立会い等も増加している。
③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
民間開発に伴う発掘調査については、民間業者の意見として早急な対応をしてほしい。	特になし

事務事業コード	774313	事務事業名	緊急埋蔵文化財発掘調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費	1		1	26		26	26		26
7 賃金	232		232	8,265		8,265	8,265		8,265
8 報償費				30		30	30		30
9 旅費				10		10	10		10
10 交際費									
11 需用費	8		8	809		809	809		809
消耗品費	4		4	280		280	280		280
燃料費	3		3	78		78	78		78
食料費									
印刷製本費	1		1	451		451	451		451
光熱水費									
修繕料									
12 役員費				65		65	65		65
通信運搬費				60		60	60		60
広告料									
手数料				5		5	5		5
保険料									
13 委託料				4,959		4,959	4,959		4,959
14 使用料及び賃借料	609		609	2,700		2,700	2,700		2,700
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	850		850	16,864		16,864	16,864		16,864

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他				9,000		9,000	9,000	
一般財源	850		850	7,864		7,864	7,864		7,864
計	850		850	16,864		16,864	16,864		16,864

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成22年度	当初予算	12,001千円		
	補正予算	-9,306千円		
	第1回(6月)	第5回		
	第2回(9月)	第6回		
	第3回	第7回(3月)	▲8,570	
	第4回	第8回	▲736	
予算合計	2,695千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774313	事務事業名	緊急埋蔵文化財発掘調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	開発行為に伴い、遺跡の確認や緊急埋蔵文化財発掘調査を実施し、記録保存することは、文化財を後世に保存することに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	各種法令により、埋蔵文化財の保存・活用や発掘調査の調査主体は行政であると求められているため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	開発行為により、地下に眠っている貴重な文化財が破壊されることを未然に防いだり、破壊される遺跡や遺構は記録に残して後世に伝えることは、対象及び意図とも妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	本来、緊急埋蔵文化財発掘調査は実施しないで、遺跡等がそのまま後世に残すことが、究極の文化財保護の形である。そこで、できるだけ早期に開発行為を把握し、計画変更をして遺跡を守るため、周知の埋蔵文化財包蔵地と埋蔵文化財保護行政の周知化を図ることが重要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財保護法に則って実施する事業であり、廃止・休止することはできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費については、発掘調査に必要な最小限の予算を確保しており、これ以上の削減は不可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	少ない人数で霧島市全体の発掘調査を実施している厳しい状況であるため、業務の一部を他機関に委託することによって業務時間を削減できる。但し、開発者の経費負担が増となるため検討を要する。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財保護法に則って実施する事業であり、公平性は保たれている。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		ほとんどが緊急を要する調査で、職員での対応が難しい場合が多いので、民間業者の活用が必要である。開発行為の早期の把握と余裕を持った事務事業を進めるため、事業主や建設業者への周知化が必要である。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
・包蔵地における開発行為を早期発見するため、関係者に文化財保護の周知化を図る。 ・開発行為に伴う試掘調査、確認調査 ・民間による開発行為に伴う緊急埋蔵文化財発掘調査 ・公共事業に伴う緊急埋蔵文化財発掘調査 ・調査の効率化を高めるために、作業従事者の専門性の向上を図るとともに、作業工程等の見直しを行う。 特に専門性の高い作業等については、外部に委託し効率化を図る。 ・埋蔵文化財の保存・活用が図られる。	・民間開発業者等に対し、文化財包蔵地の周知の徹底を図るため、引き続き文化財の確認制度等について広報を行う。

事務事業コード	774314	事務事業名	市内遺跡確認事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	文化財グループ
施策名	4	伝統文化の保存・継承		電話番号	42-1111
基本事業名	3	文化財の保存・整備		内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 11 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	款	10	教育費		
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	地方自治法、文化財保護法
	目	7	文化財保護費		
コード	774314				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績			
大隅国分寺跡や大隅正八幡関連遺跡(社家館跡等)の範囲や遺構の確認、さらには史跡整備のための基礎資料を得るため、発掘調査(確認調査)を行う。 また、国庫補助の対象となる個人または零細企業が実施する開発行為に対応するための発掘調査を実施する。 ①大隅国分寺跡及びその周辺(国分寺域内)の確認調査の実施。 ②大隅正八幡(鹿児島神宮)社家の確認調査の実施。 ③発掘調査(国庫補助対象分)の実施。			・大隅国分寺跡:報告書作成 ・大隅正八幡宮関連遺跡 範囲確認(最勝寺氏館跡、沢氏館跡) 報告書作成			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	範囲確認調査の数(整理作業含む)	件	3	2	2	2
イ						
ウ						
③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	大隅国分寺跡、大隅正八幡関連遺跡(社家館跡等)	箇所	3	2	2	2
イ	市内にある周知の埋蔵文化財包蔵地	件	523	524	525	526
ウ						
⑤ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	遺跡の範囲や遺物・遺構の残存状況を把握する。	m ²	80	102	100	100
イ						
ウ						
⑦ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	適切に保存し、後世に残す。	件	684	690	700	710
イ						

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	5,010	23年度(予算)	3,693	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 大隅国分寺跡の整備を図るための範囲等確認を平成11年から国庫補助を導入し開始した。また、大隅正八幡(鹿児島神宮)関連遺跡群の範囲確認調査も平成12年度から補助事業を導入し実施している。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 一時期に比べ、開発行為が増えてきており、確認調査及び工事立会いの件数も増加傾向である。範囲確認調査や緊急発掘調査の実施により多くの遺跡に関する調査結果が得られた。
	補正予算額	2,673				
	予算合計	7,683		3,693		
決算額	国庫補助金	3,500			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 国(文化庁)や県の担当者並びに大学教授等の専門家から高い評価を受け、詳細な調査や遺跡保存の必要性の指摘を受けている。一方、開発行為者(事業者)からは迅速な対応を求められている。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 大隅国分寺跡前の市道拡張と文化財との調整について
	県支出金	683				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	3,116				
支出合計	7,299					

事務事業コード	774314	事務事業名	市内遺跡確認事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費		9	9		4	4		4	4
7 賃金		2,697	2,697		1,156	1,156		1,156	1,156
8 報償費		290	290		120	120		120	120
9 旅費		661	661		451	451		451	451
10 交際費									
11 需用費		1,792	1,792		1,069	1,069		1,069	1,069
消耗品費		157	157		93	93		93	93
燃料費		5	5		10	10		10	10
食料費									
印刷製本費		1,630	1,630		966	966		966	966
光熱水費									
修繕料									
12 役務費		52	52		87	87		87	87
通信運搬費		50	50		85	85		85	85
広告料									
手数料		2	2		2	2		2	2
保険料									
13 委託料		1,732	1,732		473	473		473	473
14 使用料及び賃借料		66	66		333	333		333	333
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計		7,299	7,299		3,693	3,693		3,693	3,693

財源内訳	国		3,500	3,500		1,845	1,845		1,845	1,845
	県		683	683		369	369		369	369
	地方債									
	辺地債									
	過疎債									
	合併特例債									
	その他									
一般財源		3,116	3,116		1,479	1,479		1,479	1,479	
計		7,299	7,299		3,693	3,693		3,693	3,693	

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成22年度	当初予算	5,010千円		
	補正予算	2,673千円		
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)	2,000	第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	673
予算合計	7,683千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774314	事務事業名	市内遺跡確認事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大隅国分寺跡、大隅正八幡宮関連遺跡は本市を代表する文化財であり、これを保存・整備することにより、市民や霧島を訪れた人が本市の歴史・文化を正しく理解し文化財に対する意識が深まるとともに、文化財を大切にすることを心がけるようになる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の保存・活用は、地方自治法並びに文化財保護法で地方公共団体の責務と規定されており、文化財の保護・整備は市が行わなければならない事務事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	大隅国分寺跡、大隅正八幡宮関連遺跡は市街地内にあり、都市化が進む中で、遺跡の破壊・消失が懸念されているところであるので、早急な対応が必要である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	発掘調査によって、遺跡の範囲や遺構が新たに判明するので成果は向上していく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	両遺跡とも市街地にあり都市化が進んできている。このままの状態でおくと、遺跡の破壊・消失が懸念される。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	発掘調査の作業のほとんどが手作業であり、また現地は市街地で住宅等に囲まれた場所が多く、大型機械の導入も難しいので、作業効率も悪く、事業費削減は厳しい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	現地測量や石器・土器などの遺物実測を専門業者に委託しており職員の事務量の軽減を図ることができる。但し、委託などに伴う費用は必要となる。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本来、文化財は国民共有の財産であり、とりわけ遺跡はその地域の歴史を色濃く残すものである。文化財の保存と活用は地方自治法並びに文化財保護法で地方公共団体の責務と規定されており、これらのことを考慮すると、行政が実施することが妥当である。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	大隅国分寺跡の調査については、一定の評価が今回の報告書作成で見られた。大隅正八幡宮関連遺跡群について遺構の確認が進んでいるが、調査指導委員会委員の意見を調査に反映させるためには、今後も発掘調査による遺跡の解明が必要である。

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
・大隅正八幡宮跡:範囲確認調査(最勝寺氏館跡) ・報告書作成(大隅正八幡宮遺跡) ・発掘調査(国庫補助対象分)の実施。 ・四社家のひとつである最勝寺氏館跡の範囲確認発掘調査を実施することで、これまで以上に社家の詳細が判明できると思われる。 ・大隅正八幡宮遺跡(鹿児島神宮)の発掘調査報告書を発行することで、発掘調査の成果を周知(公開)することができる。 ・個人住宅などの開発に伴う緊急埋蔵文化財発掘調査を実施することで、調査経費の個人負担の軽減と遺跡の記録保存につながる。	・大隅正八幡宮関連遺跡の解明のための発掘調査の実施。 ・発掘調査(国庫補助対象分)の実施。

事務事業コード	774310	事務事業名	文化財整備事業	担当部	
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	
基本事業名	3	文化財の保存・整備		電話番号	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 62 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	
コード	774310				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績				
市内の文化財を後世に残すため、文化財の修復、復元、養生、整備や文化財周辺の環境整備を行う。また、文化財の由来などを記した説明板を設置する事により、見学者に対して文化財を正しく理解してもらう。 (市の活動) ・文化財の修復、整備、養生の実施 ・文化財周辺の環境整備及び案内板の設置 ・県指定文化財「福山のイチョウ」の養生			<ul style="list-style-type: none"> 文化財の環境整備(清掃委託) 案内看板および標柱の設置 福山のイチョウの養生 				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	整備した文化財の数	件	4	4	4	4	
イ	設置した文化財説明板・標柱の数	カ所	12	8	10	10	
ウ	環境整備を実施する文化財の数	件	46	46	46	46	
③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	市内の文化財	市内文化財の数	カ所	684	690	695	700
イ							
ウ							
⑤ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	修復、復元、養生を実施する	環境整備を実施した文化財の数	件	4	4	4	4
イ	文化財について解説し、正確な情報を提供する	設置した文化財説明板・標柱の数	部	12	8	10	10
ウ	清掃等周辺整備を行う	環境整備を実施する文化財の数	件	46	46	46	46
⑦ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	文化財を適切に保存し、後世に残す	整備する文化財の数(累計)	件	248	278	305	326
イ							

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	22年度(決算)	3,424	23年度(予算)	8,225	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 市内にある文化財を後世に残すため、文化財の保護(環境整備も含む)する。また、見学者のために、文化財周辺を含めた環境整備や文化財の正確な情報を提供する目的で説明板を設置した。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 風水害等による破損や、老朽化による取替えが毎年発生している。草払い等を実施することにより、ゴミの放置が少なくなった。
	補正予算		0				
	予算合計		3,424		8,225		
決算額	国庫補助金		0			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 一般市民から ・文化財の経緯等が、説明板でわかった。 ・草払いや掃除で、きれいになった。 ・案内標柱を設置して欲しい場所がある。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金		351				
	地方債		0				
	その他		0				
	一般財源		2,916				
支出合計		3,267					

事務事業コード	774310	事務事業名	文化財整備事業	担当部	
				担当課	

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	58		58	42		42	42		42
消耗品費	21		21	18		18	18		18
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費	9		9	9		9	9		9
修繕料	28		28	15		15	15		15
12 役員費	11		11	3		3	3		3
通信運搬費									
広告料									
手数料	8		8						
保険料	3		3	3		3	3		3
13 委託料	2,433	702	3,135	7,159	985	8,144	2,159	985	3,144
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費	63		63	36		36	36		36
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	2,565	702	3,267	7,240	985	8,225	2,240	985	3,225

財源内訳	国								
	県		351	351		492	492		492
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	2,565	351	2,916	7,240	493	7,733	2,240	493	2,733
計	2,565	702	3,267	7,240	985	8,225	2,240	985	3,225

補助率	国								
	県		1/2			1/2		1/2	
補助基本額									

平成22年度	当初予算	3,424千円		
	補正予算			
	第1回		第5回	
	第2回		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	3,424千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774310	事務事業名	文化財整備事業	担当部	
				担当課	

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の修復、復元、養生等の整備を図り、文化財説明看板で見学者へ情報提供することは、文化財を適切に保存し、後世へ残すことにつながる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財は、長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産である。当市の財産を整備し、広く市民へ知らせ、後世へ残していくことは市の重要な責務である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市全域の文化財を対象としており、適切な範囲である。また、今日まで守り伝えられてきた貴重な文化財を整備し、市民へ情報発信し、後世に伝える必要があることから意図も適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	毎年度文化財の周辺整備(清掃等)を行い、説明板等を順次整備していけば、本事業の成果は向上していく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、見学者への情報提供もされず、市民の文化財愛護思想の低下につながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、文化財の保存のために必要不可欠な修復、養生を実施している。今後、文化財活用の方から考えて整備対象を増やしていく必要があるため、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事業は概ね委託により実施している。事業に関する人件費については、少人数で仕様書作成、委託先選定、契約事務、検査を行っており、節減・節約はできない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財は国民共有の財産であり、受益者は広く市民となるため、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の案内看板や標柱が必要な所を正確に把握し、優先順位をつけて計画的な整備を行うことで、市民への周知を図った。 また、県指定文化財である福山のイチョウの養生を3か年にかけて実施していくが、平成22年度はその初年度であり、シロアリの駆除など実施した。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取り組み概要及び期待される効果 ・文化財の現状(案内板、標柱等を含む)について調査を行い、年次的に整備をおこなう。 ・修復が終了した文化財については公開や広報を行うことで関心度を高めていく。 ・県指定文化財である「福山のイチョウ」の養生を実施する。 ・真米颯穴群の調査委託 ・福山のイチョウの養生による樹勢の回復が期待できる。 ・真米颯穴群の実態が判明することができ、今後の整備の参考とすることができる。 ・今日まで守り伝えられてきた貴重な文化財を整備し、市民へ情報発信するとともに、後世に残し伝えることができる。	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容 ・文化財の整備計画書を作成し、計画的な整備に取り組む。 ・県指定文化財である「福山のイチョウ」の養生を実施する。(最終年度)

事務事業コード	774315	事務事業名	埋蔵文化財調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	文化財グループ
施策名	4	伝統文化の保存・継承		電話番号	42-1111
基本事業名	3	文化財の保存・整備		内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 6 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	霧島市立埋蔵文化財調査事務所の設置及び管理に関する規則
コード	774315				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績				
霧島市の埋蔵文化財の発掘調査によって出土した資料などの保存・整理等を行なうため、さらには発掘調査調査の成果を市民等に周知をはかるため埋蔵文化財発掘調査事務所を設置した。			調査事務所の管理運営 調査事務所の統合(国分調査事務所) 遺物保管場所の整理(隼人事務所) 遺物等の整理・展示(郷土館等へ)				
(事務事業の概要) 埋蔵文化財発掘調査事務所の管理運営 出土した遺物等の整理、保管 本市の埋蔵文化財に関する情報発信			平成23年度計画				
(埋蔵文化財調査事業→埋蔵文化財調査事務所管理運営事業(名称変更))			調査事務所の管理運営 遺物等の整理・展示(郷土館等へ)				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	整理・実測・調査した遺跡の数	件	3	4	5	5	
イ	収納した遺物の数(パンケース)	箱	300	20	25	25	
ウ							
③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	遺跡の数	市内にある遺跡の数	件	300	20	25	25
イ	遺物の数	整理・保管してある遺物の数(パンケース)	箱	2,000	2,020	2,045	2,070
ウ							
⑤ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	文化財(埋蔵文化財)	発掘された遺物の数(パンケース)	箱	300	20	25	25
イ	"	整理・保管した文化財(遺跡)の数	件	0	4	5	5
ウ							
⑦ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	適切に保存し、後世に残す。	保存されている文化財の数	件	684	690	700	710
イ							

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	22年度(決算)	3,281	23年度(予算)	2,261	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 合併前にそれぞれの地区において開発行為に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施した。その遺跡の整理作業を行い、報告書を作成するとともに、資料を保管・管理する調査事務所が必要となった。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 開発行為に伴う発掘や工事立会いが増えている。埋蔵文化財担当職員の他部署への異動や仕事量の増加によって、発掘調査を単年度で完了できなくなってきた。また、出土遺物は年々増ってきており、その管理と保管場所が課題となってきた。
	補正予算額		0				
	予算合計		3,281		2,261		
決算額	国庫補助金		0			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 発掘調査の迅速な対応をして欲しいとの要望がある。また、出土した貴重な資料や報告書を調査研究のために公開してほしいとの要望がある。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		0				
	一般財源		2,981				
	支出合計		2,981				

事務事業コード	774315	事務事業名	埋蔵文化財調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費	4		4	3		3	3		3
7 賃金	2,226		2,226	954		954	954		954
8 報償費									
9 旅費				2		2	2		2
10 交際費									
11 需用費	556		556	603		603	603		603
消耗品費	67		67	34		34	34		34
燃料費	45		45	40		40	40		40
食料費									
印刷製本費	15		15	20		20	20		20
光熱水費	399		399	457		457	457		457
修繕料	30		30	52		52	52		52
12 役員費	60		60	49		49	49		49
通信運搬費	45		45	35		35	35		35
広告料									
手数料									
保険料	15		15	14		14	14		14
13 委託料	42		42	42		42	42		42
14 使用料及び賃借料	93		93	8		8	8		8
15 工事請負費				600		600	600		600
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	2,981		2,981	2,261		2,261	2,261		2,261

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	2,981		2,981	2,261		2,261	2,261		2,261
計	2,981		2,981	2,261		2,261	2,261		2,261

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成22年度	当初予算	3,281千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	3,281千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774315	事務事業名	埋蔵文化財調査事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	埋蔵文化財の調査結果をまとめたり、出土した遺物等を保管管理することは、破壊された遺跡を記録保存として後世に残ることとなり、文化財の適切な保存に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財保護業務に関しては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律で定められているので、市が実施すべき事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	埋蔵文化財を対象として、出土した遺物等の整理・調査・保管管理すること意図としており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	現在は遺物を調査・整理・保管管理することを主眼において実施しているが、今後は保管されている遺物等を市民に周知することを含め、成果の向上余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財は国民の宝として後世に遺していかなければならないので、本事業の廃止・中止は非常に影響がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	これまで、2ヶ所にあった調査事務所を運営面では1ヶ所に統合し、事業費の削減を図った。(保管は遺物の量が多いため、これまでどおり2ヶ所とした。)
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、調査事務所には事務補佐員を配置しており、職員の業務は施設の維持管理及び資料整理の一部を担っており、業務時間の削減を図っている。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財の保存・活用は市民全体の役目であることから、本事業実施内容は公平・公正である。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		これまで、2ヶ所にあった調査事務所を運営面では1ヶ所に統合し、事業費の削減および事務の効率化を図った。 一部整理が終了していない遺物については、年次整理計画を作成し、できるだけ早い時期に整理が終了するよう努める必要がある。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
・調査事務所の管理運営 ・遺物等の整理・調査研究 ・遺物等の展示(郷土館等へ) ・これまででは遺物を調査・整理・保管管理することを主眼において実施しているが、今後は保管されている遺物等を市民に周知することで、霧島市の歴史への理解や文化財保護の気運を高めることが期待される。	・調査事務所の管理運営 ・遺物等の整理・調査研究 ・遺物等の展示(郷土館等へ) ・大隅国建国1300周年記念事業に向けた関連資料の展示

事務事業コード	774111	事務事業名	横川郷土館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	横川教育振興課
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	教育グループ
施策名	4	伝統文化の保存・継承		電話番号	72-1596
基本事業名	4	文化財の活用		内線番号	6382
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 63 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	5	郷土館費	根拠法令・条例等	霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例
	コード	774111			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績			
横川地域の歴史・民俗資料の調査、整理、収蔵及び資料の公開を行い、郷土の歴史を正しく理解するとともに、故郷に対し造詣を深める。 (事務内容) ・横河郷土館の管理・運営 ・巡回展の実施			霧島のレトロな絵はがき展巡回展示、霧島の田の神写真展巡回展示、第7回きりしま写真展巡回展示			
			平成23年度計画			
			展示品の入れ替え、横川公民館や大隅横川駅を利用して横川区文化財史跡の写真展開催			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	開館日数	日	299	298	298	298
イ						
ウ						
③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	地域住民(市民)	人	127,662	127,512	128,868	129,098
イ						
ウ						
⑤ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	郷土館に訪れた人の数	人	221	201	250	250
イ						
ウ						
⑦ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。	人	9,512	10,239	9,800	10,000
イ						

(2) 事業費		単位:千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
	22年度(決算)	23年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?		② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?
予算額	当初予算額	1,590	昭和63年、横川の歴史・文化を正しく理解するとともに、郷土の貴重な資料を収集し後世に残すことを目的として、横川郷土館を建設した。		入館者数が平成17年度223人、平成22年度201人。5年間で約10%減少している。
	補正予算額	0			
	予算合計	1,590			
決算額	国庫補助金	0	③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?		④ この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金	0			
	地方債	0	展示品や史跡の説明ができる人の配置が必要。		
	その他	6			
	一般財源	1,482			
	支出合計	1,488			

事務事業コード	774111	事務事業名	横川郷土館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	横川教育振興課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	836		836	794		794	794		794
消耗品費	19		19	17		17	17		17
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費	817		817	777		777	777		777
修繕料									
12 役務費	15		15	15		15	15		15
通信運搬費									
広告料									
手数料	6		6	6		6	6		6
保険料	9		9	9		9	9		9
13 委託料	637		637	431		431	431		431
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,488		1,488	1,240		1,240	1,240		1,240

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	6		6	5		5	5	
一般財源	1,482		1,482	1,235		1,235	1,235		1,235
計	1,488		1,488	1,240		1,240	1,240		1,240

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成22年度	当初予算	1,590千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	1,590千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳	
入館料	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774111	事務事業名	横川郷土館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	横川教育振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土の歴史・文化を学ぶ最良の場所を提供することによって、文化財への造詣が深まり、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。また、児童生徒の社会教育施設における学習の場として寄与している。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域の伝統・歴史について市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めることは市が担当する必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市民及び霧島市の歴史・文化を学びたい人を対象としており、対象・意図ともに適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	人々の興味をひく企画展やイベント、常設展示品の入れ替え等を行うこと、またその広報活動に力を入れることによって、来館者の増加が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	郷土の歴史・文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちの学習に影響する。また、収集されている文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 企画展、収集品展、巡回展等の主催事業を充実させることによって、入館者の増加が図られる。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費については、館を管理・運営するために必要な最低限の予算計上であり、これ以上の削減は不可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	同じ建物内の2階にある横川図書室の図書司書補助員に管理を兼ねてもらっている。これ以上の削減は不可能である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		人々が歴史や文化について今興味を持っていることや社会情勢を考慮し、企画展や巡回展、体験学習、常設展示物の入れ替えなどを実施した。今後も入館者の増加につながる方策を検討する。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
・展示品の入れ替え ・島津義久没後400周年記念事業関連巡回展 ・隣接する公民館や、大隅横川駅などで、郷土館主催による文化財史料写真パネル展示 入館者を増やす工夫を行い、郷土の歴史・文化を学ぶ場所を提供することによって、文化財への造詣が深まるとともに、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。	・回覧板や広報を利用して郷土館のPR ・特別展の開催 ・上野原縄文の森開園10周年記念関連展示会 ・大隅国建国1300周年記念事業関連展示会

事務事業コード	774110	事務事業名	国分郷土館管理運営事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	4	文化財の活用		電話番号	42-1111
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 54 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	5	郷土館費		霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例
コード	774110				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績				
国分地域の歴史・民俗資料の調査、整理、収蔵及び資料の公開を行い、郷土の歴史を正しく理解するとともに、故郷への造詣を深める。 また、それぞれの郷土館が持つ資料などを活用して、特別展・企画展・郷土館収蔵品展等を実施する。併せて、市内の5つの郷土館等施設や文化財等のネットワークを図り、スタンプラリーを行い、市内の特色ある歴史・文化に触れ、郷土への造詣を深めることを目的とし、郷土館等施設の入館者の増加に努める。 (事務内容) ・国分郷土館の管理・運営 ・企画展、巡回展の実施			薩摩藩家老調所家収蔵品展 4/24~6/30 「田の神さあ」写真展 10/19~10/31 霧島のレトロな絵はがき展 8/17~8/29 国分郷土館体験学習「ミニ門松づくり」				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	開館日数	日	313	307	313	313	
イ							
ウ							
③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	地域住民(市民)	地域(市民)の人口	人	127,662	127,512	128,868	129,098
イ							
ウ							
⑤ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	郷土館に訪れた人の数	入館者数	人	934	1,106	1,200	1,300
イ							
ウ							
⑦ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。	郷土の歴史を学んだ市民の数	人	9,512	10,239	9,800	10,000
イ							

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	22年度(決算)	4,034	23年度(予算)	4,914	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 昭和54年、国分の歴史・文化を正しく理解するとともに、郷土の貴重な資料を収集し後世に残すことを目的として、国分郷土館を建設した。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 郷土館の主催事業として、企画展、郷土館収蔵品展(2回)、体験学習などを積極的に実施しているが、入館者数は1000人~1500人と低迷している。
	補正予算額		0				
	予算合計		4,034		4,914		
決算額	国庫補助金		0			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ ①国分郷土館は城山公園(山頂部)の一角にあり、気軽に行ける場所ではない。 ②霧島市には同類の施設が5館あり、今後統廃合を含めた総合的な見直しが必要である。(平成20年3月に方針決定)	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		73				
	一般財源		3,881				
支出合計		3,954					

事務事業コード	774110	事務事業名	国分郷土館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金	1,563		1,563	1,613		1,613	1,613		1,613
8 報償費				5		5	5		5
9 旅費	5		5						
10 交際費									
11 需用費	1,349		1,349	1,516		1,516	1,516		1,516
消耗品費	137		137	150		150	150		150
燃料費									
食料費									
印刷製本費				50		50	50		50
光熱水費	838		838	816		816	816		816
修繕料	374		374	500		500	500		500
12 役員費	84		84	85		85	85		85
通信運搬費	68		68	69		69	69		69
広告料									
手数料	8		8	8		8	8		8
保険料	8		8	8		8	8		8
13 委託料	953		953	1,695		1,695	1,695		1,695
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	3,954		3,954	4,914		4,914	4,914		4,914

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	73		73	66		66	66	
一般財源	3,881		3,881	4,848		4,848	4,848		4,848
計	3,954		3,954	4,914		4,914	4,914		4,914

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成22年度	当初予算	4,034千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	4,034千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳	
入館料	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774110	事務事業名	国分郷土館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土の歴史・文化を学ぶ最良の場所を提供することによって、文化財への造詣が深まり、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。また、児童生徒の社会教育施設における学習の場として寄与している。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域の伝統・歴史について市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めることは市が担当する必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市民及び霧島市の歴史・文化を学びたい人を対象としており、対象・意図ともに適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	人々の興味をひく企画展やイベント、常設展示品の入れ替え等を行うこと、またその広報活動に力を入れることによって、来館者の増加が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	郷土の歴史・文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちの学習に影響する。また、収集されている文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 企画展、収集品展、巡回展等の主催事業を充実させることによって、入館者の増加が図られる。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費については、館を管理・運営するために必要な最低限の予算計上であり、これ以上の削減は不可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員は館の管理に関する事務を主に手がけており、郷土館の運営は非常勤職員と人材派遣委託(シルバー)で実施している。これ以上の削減は不可能である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	人々が歴史や文化について今興味を持っていることや社会情勢を考慮し、企画展や巡回展、体験学習、常設展示物の入れ替えなどを実施した。今後も入館者の増加につながる方策を検討する。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3) 具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
・鉄道展～機関車からさくらまで～ ・国分郷土館体験学習「ミニ門松づくり」 ・島津義久没後400周年記念事業関連展示会 郷土の歴史・文化を学ぶ場所を提供することによって、文化財への造詣が深まるとともに、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。	・上野原縄文の森開園10周年記念関連展示会 ・大隅国建国1300周年記念事業関連展示会 ・企画展の実施 ・国分郷土館体験学習「ミニ門松づくり」

事務事業コード	774320	事務事業名	山ヶ野ウォーキング大会開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成22年度 (決算)		平成23年度 (予定)		平成24年度 (予定)	
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
1	山ヶ野金山文化財保護活用実行委員会 8人									補助金	530	補助金	500	補助金	500
										自主財源	630	自主財源	630	自主財源	630
	合計									1,160	1,130	1,130	1,130		
2										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
3										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
4										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
5										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
6										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
7										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
8										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
9										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
10										補助金		補助金		補助金	
										自主財源		自主財源		自主財源	
	合計														
計									8人	補助金負担金合計	530	補助金負担金合計	500	補助金負担金合計	500
									自主財源合計	630	自主財源合計	630	自主財源合計	630	
									自主財源率	54%	自主財源率	56%	自主財源率	56%	

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名		平成22年度 (決算)	平成23年度 (計画)	平成24年度 (予定)	負担金の支払先			
	負担金額					全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

■平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	530
補正予算	
合計	530

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	774320	事務事業名	山ケ野ウォーキング大会開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	山ケ野金山ウォーキングに参加することで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にす愛護思想を育むことができ、地域の活性化にも繋がるので政策体系に結びつくことができる。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財(山ケ野金山)を市民や市外の方々に周知し、文化財の保存・伝承について理解を深めたり、地域の活性化を図ることは市の役割である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	山ケ野金山ウォーキングにより、参加者が文化財に対する意識を高めることが重要である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	山ケ野金山ウォーキングにより、参加者数、案内説明場所、コース設定、山ケ野地区住民の協力、中学生による案内説明など、より効果を上げるため実行委員会で検討しているが、現段階では地域住民でできることを含め最大限の努力をいただいている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	山ケ野金山を活用して文化財の周知や文化財を大切にす心を育まないと、次第に文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。また、地域の活性化が後退する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	地域住民(中学生～高齢者)の全面的協力及びボランティアによる運営を実施している。総事業費の半額を参加費が占めており、歳出についても極力削減に努めている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員は補助金交付に係る諸手続きを実施している。実行委員会については、臨時職員を実行委員会で雇用しており、当日は約270名のスタッフもボランティアであり、人件費の削減は十分に実施している。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業の案内については、市報・チラシなどで広報を実施している。参加資格、申込方法など多くの方が公平に参加できるよう配慮している。また、参加者は参加費を出していることから、公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	文化財を活用しながら、地域の方がボランティアとして、ウォーキング大会の運営に携わっておられ、地域の活性化と文化財の活用がうまくマッチした事業と考える。しかし、年々地域の高齢化によってスタッフの確保が困難になってきている。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
・平成22年度は公募参加者が例年に比べて少なかったため、本年度はより多くの参加者があるように、広報などに力を入れていきたい。 ・コスト削減を図り、参加費の軽減にも努めたい。 ・地域住民の高齢化が進み、ボランティアの人数が減少することが考えられることから、新たなボランティアの募集・養成を実施したい。	山ケ野金山ウォーキングは、地元の有志でつくる「山ケ野金山文化財保護活用実行委員会」が主となり運営をし、教育委員会横川出張所が事務局としてバックアップしている。職員が減少するなか、実行委員会にこれまで以上に自主性を持たせ、実行委員会の活性化と職員の負担軽減に繋がるように改善していきたい。

事務事業コード	774321	事務事業名	市内史跡めぐり開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	文化財グループ
施策名	4	伝統文化の保存・継承		電話番号	42-1111
基本事業名	4	文化財の活用		内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 18 年度~)
	項	6	社会教育費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)
	目	7	文化財保護費		特になし
コード	774321				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績			
霧島市は古くは縄文時代から始まり、クマツ・ハヤトや天孫降臨などの伝説、古代からは大隅国の中心地として、さらには近世に至るまで産業・経済の中心地として栄えてきた。市内には数多くの文化財が点在している。そこで、地域住民が霧島市内の文化財を見学することで、文化財や郷土の歴史への認識を深め、愛郷心を高揚するとともに、文化財を大切にすることを心を持たせる。 (業務内容) ①市報・チラシなどによる広報・募集 ②市内全域を対象にした年8回の史跡めぐり(徒歩・バス) ③見学資料の配布・参加料の徴収(徒歩:300円, バス:700円)			市内史跡めぐり(8回)			
			平成23年度計画			
			市内史跡めぐり(6回)			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	史跡めぐりの実施回数	回	8	6	8	8
イ						
ウ						
③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	市民	人口	127,662	127,512	128,868	129,098
イ						
ウ						
⑤ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	郷土の歴史・文化を知ってもらおう	史跡めぐり参加者数	237	201	300	310
イ	〃	初めて史跡めぐりに参加した人	未把握	33	40	40
ウ						
⑦ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する	郷土の歴史を学んだ市民の数	9,512	10,239	9,800	10,000
イ						

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	207	144	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 平成18年度から霧島市の歴史や文化財を広く知っていただくことを目的として開始した。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 平成17年に霧島市が誕生して以来、市民の多くの方が郷土(霧島市)の歴史や文化財について、関心を寄せている。
	補正予算額	0			
	予算合計	207	144		
決算額	国庫補助金	0		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 市民から、史跡めぐりについて、もっと積極的に広報してほしい。 史跡めぐりの参加者から、今後も続けてほしいという要望が寄せられている。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	89			
	一般財源	55			
支出合計	144				

事務事業コード	774321	事務事業名	市内史跡めぐり開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費	20		20	5		5	5		5
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	50		50	13		13	13		13
消耗品費	50		50	13		13	13		13
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料	74		74	126		126	126		126
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	144		144	144		144	144		144

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	89		89	81		81	81	
一般財源	55		55	63		63	63		63
計	144		144	144		144	144		144

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成22年度	当初予算	207千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	207千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加料、資料代	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774321	事務事業名	市内史跡めぐり開催事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市内の文化財を巡ることで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にすることを心がけることができる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市内の文化財を市民に周知を図り、文化財の保存・伝承について理解を深めてもらうことは市の役割である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市民を対象として、郷土の歴史や文化を正しく理解することを意図しており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	史跡めぐり参加者を増やしていくことや内容の充実を図ることで、郷土の歴史、文化を正しく認識している人が増え成果が向上する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財の周知や文化財を大切にすることを育まないと、次第に文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えていくことが懸念される。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事業は、外部講師の謝金、バスの借上げなど、必要最小限の予算で実施している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	本事業の業務内容は、参加者の募集、資料作成、当日の史跡めぐりなどであり、外部に委託する業務はない。(講師は外部から招聘することがある。)
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業の広報も市報やチラシで行っており、市民に広く呼びかけている。バスによる史跡めぐりは募集人数に制限があるため、はがきによる募集を行い、定数を越えた場合は抽選を行なっているため公平である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	参加者が固定化する傾向にあるので、史跡めぐりの内容の充実や広報活動の工夫の検討が必要である。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
・史跡めぐりの実施 ・資料代300円、バス代700円を参加者に負担 ・大隅国建国1300周年記念事業との連携 ・島津義久公没後400周年記念事業の実施 ・幅広くチラシ配布したり、学校への呼びかけを行い、新たな参加者の掘り起しを行う。	・史跡めぐりの実施 ・大隅国建国1300周年記念事業との連携 ・上野原縄文の森開園10周年記念事業との連携 ・市民の関心のあるテーマ・コースを適切に取り入れる ・史跡めぐりコースが固定化しないように新たなコースの掘り起しを図る

事務事業コード	774114	事務事業名	隼人塚史跡館管理運営事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	4	文化財の活用		電話番号	42-1111
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 13 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	5	郷土館費	根拠法令・条例等	霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例
コード	774114				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績			
国指定史跡隼人塚を見学する人に、隼人塚やハヤトについての紹介や説明を行う。 隼人塚、ハヤトに関係のある資料を集めて保存・調査したり紹介するために、史跡館の施設を管理運営する。 (事業内容) ・隼人塚史跡館の管理・運営 ・企画展、巡回展の実施 ・文化財少年団の育成			「田の神さあ写」真展 10/19~10/31 文化財少年団活動「灯燈まつり」			
			平成23年度計画			
			文化財少年団「灯燈まつり」			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	開館日数	日	307	305	313	313
イ						
ウ						
③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	地域住民(市民)	人	127,662	127,512	128,868	129,098
イ						
ウ						
⑤ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	郷土館に訪れた人の数	人	2,749	1,995	2,100	2,200
イ						
ウ						
⑦ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。	人	9,512	10,239	9,800	10,000
イ						

(2) 事業費		単位:千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等		
	22年度(決算)	23年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 国指定史跡隼人塚の発掘調査・修復整備事業の一環として、平成13年度開館。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 開館当初よりは入館者は減少傾向にある。県外からの利用も多い。		
予算額	当初予算額	3,720				3,418
	補正予算額	0				
	予算合計	3,720	3,418			
決算額	国庫補助金	0	③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 隼人塚の歴史やハヤトについてわかった。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし		
	県支出金	0				
	地方債	0				
	その他	160				
	一般財源	3,494				
	支出合計	3,654				

事務事業コード	774114	事務事業名	隼人塚史跡館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金	1,571		1,571	1,621		1,621	1,621		1,621
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	624		624	595		595	595		595
消耗品費	105		105	105		105	105		105
燃料費									
食料費									
印刷製本費				4		4	4		4
光熱水費	519		519	486		486	486		486
修繕料									
12 役員費	68		68	66		66	66		66
通信運搬費	59		59	58		58	58		58
広告料									
手数料									
保険料	9		9	8		8	8		8
13 委託料	1,282		1,282	1,126		1,126	1,126		1,126
14 使用料及び賃借料	109		109	10		10	10		10
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	3,654		3,654	3,418		3,418	3,418		3,418

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	160		160	239		239	239	
一般財源	3,494		3,494	3,179		3,179	3,179		3,179
計	3,654		3,654	3,418		3,418	3,418		3,418

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成22年度	当初予算	3,720千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
	予算合計	3,720千円		

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳	
入館料	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774114	事務事業名	隼人塚史跡館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	隼人塚やハヤトの歴史について学ぶ場所を提供することによって、関心や理解を深めてもらい、郷土の歴史を正しく理解することに結びつく。また、児童生徒の社会教育施設における学習の場として寄与している。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	隼人塚は国指定史跡であり、隼人塚史跡館はそのガイダンス施設としての役割を担っているため必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	隼人塚やハヤトの歴史について学びたい人は、誰でも隼人塚史跡館を利用できるので適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	企画展や特別展を企画運営することにより、入館者数を増やす。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	平成13年度に開館しており、現段階では補助金等適性化法に抵触する。郷土の歴史・文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちの学習に影響する。また、収蔵されている文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 企画展、収蔵品展、巡回展等の主催事業を充実させることによって、入館者の増加が図られる。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費については、館を管理・運営するために必要な最低限の予算計上であり、これ以上の削減は不可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員は館の管理に関する事務を主に手がけており、郷土館の運営は非常勤職員と人材派遣委託(シルバー)で実施している。これ以上の削減は不可能である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。また、霧島市内の他の郷土館等施設と入館料を統一しており、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	隼人塚史跡館としての特色を活かした、企画展や巡回展、体験学習、常設展示物の入れ替えなどを実施した。また、隼人塚は鹿児島神宮が行なう年中行事「浜下り」の中継所ともなっており、文化財少年団もその行事に参加した。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
・文化財少年団「灯籠まつり」 ・島津義久没後400周年記念事業巡回展 ・文化財少年団の育成 郷土の歴史・文化を学ぶ場所を提供することによって、文化財への造詣が深まるとともに、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。	・文化財少年団「灯籠まつり」 ・文化財少年団の育成 ・上野原縄文の森開園10周年記念事業巡回展 ・大隅国建国1300周年記念事業関連事業巡回展

事務事業コード	774113	事務事業名	隼人歴史民俗資料館管理運営事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	4	文化財の活用		電話番号	42-1111
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 56 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	5	郷土館費	根拠法令・条例等	霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例
コード	774113				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績			
隼人地区の歴史・民俗資料を集めたり、保存したり、調査研究したり、市民に紹介したりする。そのために資料館の施設を管理運営する。また、隼人にゆかりのある浜下りや年中行事である灯ろう祭りなどを文化財少年団を組織して伝統的体験学習を行なう。 (事務内容) ・隼人歴史民俗資料館の管理・運営 ・企画展、巡回展の実施			「田の神さあ写」真展 10/19~10/31 霧島のレトロな絵はがき展 8/17~8/29 「海と城館が支えた祈りの世界」展 10/5~12/5			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア 開館日数		日	308	307	313	313
イ						
ウ						
③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア 地域住民(市民)	地域(市民)の人口	人	127,662	127,512	128,868	129,098
イ						
ウ						
⑤ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア 郷土館に訪れた人の数	入館者数	人	1,975	2,368	2,400	2,500
イ						
ウ						
⑦ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア 文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。	郷土の歴史を学んだ市民の数	人	9,512	10,239	9,800	10,000
イ						

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	22年度(決算)	3,112	23年度(予算)	3,050	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 昭和56年、隼人地域の歴史・文化を正しく理解するとともに、郷土の貴重な資料を収集し後世に残すことを目的として、隼人歴史民俗資料館を建設した。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 入館者は横ばい傾向にある。一般入館者の他、小学生の郷土の学習、歴史愛好団体の活動の場として利用されているが、ここ数年は大学の博物館実習や中学生の職場体験実習の場としても利用されている。
	補正予算額		0				
	予算合計		3,112		3,050		
決算額	国庫補助金		0			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 入館者の増加対策。費用対効果に関する指摘。郷土の歴史について知ることが出来良かった(常設展, 特別展)。文化財少年団や郷土館等活用他意見学習を通して、郷土の歴史・文化・風俗などが良く分るようになった。との意見が寄せられている。単年度で終了することなく継続してほしい。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		81				
	一般財源		2,951				
支出合計		3,032					

事務事業コード	774113	事務事業名	隼人歴史民俗資料館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金	1,571		1,571	1,613		1,613	1,613		1,613
8 報償費				5		5	5		5
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	475		475	541		541	541		541
消耗品費	139		139	130		130	130		130
燃料費									
食料費									
印刷製本費	20		20	30		30	30		30
光熱水費	316		316	381		381	381		381
修繕料									
12 役員費	106		106	102		102	102		102
通信運搬費	60		60	62		62	62		62
広告料									
手数料	6		6	11		11	11		11
保険料	40		40	29		29	29		29
13 委託料	677		677	713		713	713		713
14 使用料及び賃借料	189		189	66		66	66		66
15 工事請負費									
16 原材料費	14		14	10		10	10		10
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	3,032		3,032	3,050		3,050	3,050		3,050

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	81		81	170		170	170	
一般財源	2,951		2,951	2,880		2,880	2,880		2,880
計	3,032		3,032	3,050		3,050	3,050		3,050

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成22年度	当初予算	3,112千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	3,112千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳	
入館料	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774113	事務事業名	隼人歴史民俗資料館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土の歴史・文化を学ぶ最良の場所を提供することによって、文化財への造詣が深まり、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。また、児童生徒の社会教育施設における学習の場として寄与している。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域の伝統・歴史について市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めることは市が担当する必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市民及び霧島市の歴史・文化を学びたい人を対象にしており、対象・意図ともに適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	魅力的な特別展やイベントなどの実施、ホームページを作成するなど情報を発信することによって来館者の増加が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	郷土の歴史・文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちの学習に影響する。また、収集されている文化財や滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 企画展、収蔵品展、巡回展等の主催事業を充実させることによって、入館者の増加が図られる。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費については、館を管理・運営するために必要な最低限の予算計上であり、これ以上の削減は不可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員は館の管理に関する事務を主に手がけており、郷土館の運営は非常勤職員と人材派遣委託(シルバー)で実施している。これ以上の削減は不可能である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		大隅正八幡宮(鹿児島神宮)関連の県内でも重要な資料がかなり保管されているが、これらの情報が発信されていない。今後は地道な調査整理が必要であり、かつ発信の場(特別展等)を設ける必要がある。(現在地元の史談会が資料館を活用して地域の歴史を調査研究しているので、これらの成果も展示に活用していきたい。)

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
・企画展「用水路と人々の生活」の開催 ・島津義久没後400周年記念事業巡回展 ・大隅正八幡宮関連展示 郷土の歴史・文化を学ぶ場所を提供することによって、文化財への造詣が深まるとともに、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。	・上野原縄文の森開園10周年記念関連巡回展 ・大隅国建国1300周年記念事業関連巡回展 ・企画展の実施 ・大隅正八幡宮関連展示

事務事業コード	774112	事務事業名	霧島歴史民俗資料館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	文化財グループ
施策名	4	伝統文化の保存・継承		電話番号	42-1111
基本事業名	4	文化財の活用		内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 54 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	5	郷土館費	根拠法令・条例等	霧島市立郷土館等の設置及び管理に関する条例
コード	774112				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績			
霧島地域の歴史・民俗資料の調査、整理、収蔵及び資料の公開を行い、郷土の歴史を正しく理解するとともに、故郷に対し造詣を深める。 (事務内容) ・霧島歴史民俗資料館の管理・運営 ・企画展、巡回展の実施			資料展示のスペースがないため、隣接する公民館ロビーにて巡回展を実施した。 「田の神さあ写」真展 9/22~9/30 霧島のレトロな絵はがき展 10/5~10/17			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	開館日数	日	293	294	294	294
イ						
ウ						
③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	地域住民(市民)	人	127,662	127,512	128,868	129,098
イ						
ウ						
⑤ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	郷土館に訪れた人の数	人	248	194	200	200
イ						
ウ						
⑦ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	文化財を学び郷土の歴史を正しく理解する。	人	9,512	10,239	9,800	10,000
イ						

(2) 事業費		単位:千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
	22年度(決算)	23年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか?	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか?	
予算額	当初予算額	583	昭和54年、霧島の歴史・文化を正しく理解するとともに、郷土の貴重な資料を収集し後世に残すことを目的として、霧島歴史民俗資料館を建設した。	年間の来館者は延べ200人程度であり、経費削減のため、資料館の2階にある図書館に合わせて開館している。	
	補正予算額	0			
	予算合計	583			
決算額	国庫補助金	0	③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか?	④ この事務事業に対する議会から出された意見	
	県支出金	0			
	地方債	0	霧島市には同類の施設が5館あり、今後統廃合を含めた総合的な見直しが必要である。	特になし	
	その他	6			
	一般財源	572			
	支出合計	578			

事務事業コード	774112	事務事業名	霧島歴史民俗資料館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	39		39	44		44	44		44
消耗品費	20		20	20		20	20		20
燃料費	3		3	6		6	6		6
食料費									
印刷製本費									
光熱水費	16		16	18		18	18		18
修繕料									
12 役員費	11		11	11		11	11		11
通信運搬費									
広告料									
手数料	6		6	6		6	6		6
保険料	5		5	5		5	5		5
13 委託料	528		528	531		531	531		531
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	578		578	586		586	586		586

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	6		6	7		7	7	
一般財源	572		572	579		579	579		579
計	578		578	586		586	586		586

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成22年度	当初予算	583千円		
	補正予算			
	第1回(6月)	第5回		
	第2回(9月)	第6回		
	第3回	第7回		
	第4回	第8回		
予算合計	583千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳	
入館料	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	774112	事務事業名	霧島歴史民俗資料館管理運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	郷土の歴史・文化を学ぶ最良の場所を提供することによって、文化財への造詣が深まり、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。 また、児童生徒の社会教育施設における学習の場として寄与している。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域の伝統・歴史について市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めることは市が担当する必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市民及び霧島市の歴史・文化を学びたい人を対象としており、対象・意図ともに適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	人々の興味をひく企画展やイベント、常設展示品の入れ替え等を行うこと、またその広報活動に力を入れることによって、来館者の増加が期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	郷土の歴史・文化を学ぶ場がなくなり、学校教育や子どもたちの学習に影響する。また、収集されている文化財が滅失や損傷の危機にさらされることはもちろん、市民の文化財愛護思想の低下にもつながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 統合できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 企画展、収集品展、巡回展等の主催事業を充実させることによって、入館者の増加が図られる。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業費については、館を管理・運営するために必要な最低限の予算計上であり、これ以上の削減は不可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	職員は館の管理に関する事務を主に手がけており、郷土館の運営は人材派遣委託(シルバー)で実施している。これ以上の削減は不可能である。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市民はもちろん、霧島市の歴史・文化を学びたい人は誰でも同じ料金で入館でき、公平性は保たれている。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	人々が歴史や文化について今興味を持っていることや社会情勢を考慮し、企画展や巡回展、体験学習、常設展示物の入れ替えなどを実施した。 今後も入館者の増加につながる方策を検討する。

3 今後の方向性<PLAN>

(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか

① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果 ・島津義久没後400周年記念事業関連巡回展 郷土の歴史・文化を学ぶ場所を提供することによって、文化財への造詣が深まるとともに、郷土の歴史を正しく理解することにつながる。	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容 ・上野原縄文の森開園10周年記念関連巡回展 ・大隅国建国1300周年記念事業関連巡回展 ・図書館と連携した展示の工夫
--	---

事務事業コード	774311	事務事業名	文化財保護啓発事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	4	伝統文化の保存・継承		グループ	文化財グループ
基本事業名	1	伝統文化を学ぶ		電話番号	42-1111
				内線番号	5201
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	7	文化財保護費	根拠法令・条例等	特になし
	コード	774311			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績				
地域住民に市内の文化財を広く紹介することで郷土の歴史を正しく理解し、文化財を大切にすることを育むため、「霧島を知る」をテーマとした次のような、文化財保護啓発事業を実施する。 (事業内容) ①文化財に関するパンフレットの再販、販売 ②市報に「郷土史への扉」を掲載 ③文化財保護強調週間の周知化(広報掲載・パンフの掲示など) ④「文化財防火デー」に合わせて、神社等による防火訓練の実施 ⑤縄文シティサミット・全国史跡整備市町村協議大会への参加 ⑥調査した文化財の資料整理の実施 など			・文化財防火デー防火訓練の実施 ・「ぐるり霧島」パンフレット増刷 ・広報誌に「郷土史への扉」を掲載 ・文化財保護強調週間の周知化				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	広報活動・情報発信の数	件	9	8	10	10	
イ	文化財防火訓練の実施	回	3	3	3	3	
ウ	パンフレット・文化財調査物の刊行部数	冊	2,700	2,000	4,000	4,000	
③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	地域住民(市民)	地域(市民)の人口	人	127,662	127,512	128,868	129,098
イ							
ウ							
⑤ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	文化財に関心をもってもらう。	パンフレット等を刊行した数	冊	4,500	2,000	4,000	4,000
イ							
ウ							
⑦ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	地域の伝統文化を学び郷土を知ることができる。	伝統文化を知っている市民の割合	%	80.8	80.9	74.0	75.0
イ							

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	22年度(決算)	1,758	23年度(予算)	1,979	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 平成17年合併して霧島市となり、新しい町の歴史や文化財を地域住民の方々にもっと知ってもらい、文化財に関心を持ち、大切にすることを目的として「霧島を知る」事業を開始した。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 合併に伴い、霧島市は数多くの文化財を有するまちとなった。これまではそれぞれの市町の文化財や歴史は学んでいたが、新しいまちのことについては知らない状況である。
	補正予算額		0				
	予算合計		1,758		1,979		
決算額	国庫補助金		0			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか？ 市民が合併をきっかけとして、霧島市の歴史や文化に対して関心が高まってきており、学ぼうとする市民も増加の傾向でパンフレットなどの資料請求などの要望が多く寄せられている。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		76				
	一般財源		1,582				
支出合計		1,658					

事務事業コード	774311	事務事業名	文化財保護啓発事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金	1,081		1,081	1,068		1,068	1,068		1,068
8 報償費									
9 旅費	261		261	508		508	508		508
10 交際費									
11 需用費	227		227	315		315	315		315
消耗品費									
燃料費	6		6						
食料費									
印刷製本費	221		221	315		315	315		315
光熱水費									
修繕料									
12 役員費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料									
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金	89		89	88		88	88		88
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	1,658		1,658	1,979		1,979	1,979		1,979

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	76		76	90		90	90	
一般財源	1,582		1,582	1,889		1,889	1,889		1,889
計	1,658		1,658	1,979		1,979	1,979		1,979

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成22年度	当初予算	1,758千円		
	補正予算			
	第1回(6月)		第5回	
	第2回(9月)		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	1,758千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳
ガイドブック販売
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	774311	事務事業名	文化財保護啓発事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財を市民に紹介することで、郷土の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にすることを心がけることができる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	霧島市の文化財を市民に紹介し、文化財の保護について理解を深めてもらうことは市の役割である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市民を対象として、文化財を大切にすることを意図しており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	文化財愛護思想を高めることで、各種イベントへの参加者が増え、より成果を高めることができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	文化財の周知や文化財を大切にすることを育まないと、年々文化財の消失や郷土芸能や風習、さらには年中行事、方言などが途絶えることが考えられる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在でも市報やホームページを活用して意識啓発を行っており、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	文化財調査の整理(調査カード)や文化財啓発に関する業務は事務補佐員を雇用しており、職員は意識啓発用の原稿作成や最小限の事務業務に留めている。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市報やHPなどを活用したりすることで、一様に情報を市民に提供することができる。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	平成22年度は第1回霧島市郷土芸能祭開催時に市民会館ロビーにおいて、「田の神さあ」写真展を実施するなど、文化財の啓発事業を進めた。今後も各種イベント等で文化財啓発の情報発信を続けていきたい。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続 ⇒(3)具体的な改善計画は不要	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
・文化財防火デー防火訓練の実施 ・「ぐるり霧島」パンフレット増刷 ・広報誌に「郷土史への扉」を掲載 ・文化財保護強調週間の周知化 各種団体が行うイベント等において、パネル展示を行うなどして文化財の保護の周知を図る	・文化財防火デー防火訓練の実施 ・「ぐるり霧島」パンフレット増刷 ・広報誌に「郷土史への扉」を掲載 ・文化財保護強調週間の周知化 ・全国縄文シテイサミットの開催 ・上野原縄文の森開園10周年記念事業の展開

事務事業コード	774215	事務事業名	少年少女合唱団運営事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	文化振興課
施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興		グループ	芸術文化グループ
基本事業名	3	スポーツ、芸術文化団体の育成		電話番号	45-1119
				内線番号	5203
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 8 年度~)
	項	6	社会教育費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	6	文化振興費	根拠法令・条例等	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
コード	774215				
補助金負担金別	<input checked="" type="checkbox"/> 団体の運営支援 <input type="checkbox"/> 団体の活動支援 <input type="checkbox"/> イベント等の補助 <input type="checkbox"/> 協議会等負担金				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)

霧島市少年少女合唱団に運営費の補助として補助金の支出と運営の支援を行っている。
 【活動内容】
 合唱団は市内の小学1年生から中学3年生までを対象として団員を募り、原則毎月3回土曜日(午前)を練習日としている。
 霧島市少年少女合唱祭の開催や鹿児島県合唱連盟合唱祭、地区の文化祭等に出演している。
 【事務事業】
 補助金交付に係る諸手続き、文化協会活動に対する指導・助言

補助金・負担金の交付先	霧島市少年少女合唱団	補助金の対象経費	112			
② 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア 演奏会等の出演回数	回	6	6	6	6	
イ 練習回数	回	34	34	33	33	
ウ						
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア 児童数	市内の小学校に在籍している児童の数	人	8,053	7,821	7,821	7,700
イ 生徒数	市内の中学校に在籍している生徒の数	人	3,975	3,931	3,931	3,900
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア 合唱を通して、心豊かな青少年育成と音楽文化向上を図る	少年少女合唱団員の数	人	40	40	43	45
イ						
ウ						
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア スポーツや芸術文化活動に取り組む仲間が増える	芸術文化団体・組織の会員数	人	4,077	3,794	4,433	4,433
イ						

(2)事業費		単位：千円		(3)事務事業の環境変化・住民意見等	
	22年度(決算)	23年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？	
予算額	当初予算額	112	100	学校週5日制(隔週)の導入に伴い、合唱による児童生徒の健全育成を推進するために、平成8年度に旧国分市を中心に結成された。	
	補正予算			文化活動(音楽)に対して興味を持つ児童生徒の数は横ばいとなっている。	
	予算合計	112	100		
決算額	国庫補助金			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	④ この事務事業に対する議会から出された意見
	県支出金			少年少女合唱団は以前単人、横川地区にもあったが、現在は当該合唱団しかないため、市内全体から募集をして活動してほしい。	特になし
	地方債				
	その他				
	一般財源	112			
支出合計	112				

事務事業コード	774215	事務事業名	少年少女合唱団運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

■運営支援・活動支援・イベントの補助等の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名									平成22年度 (決算)		平成23年度 (予定)		平成24年度 (予定)		
	対象地区	全市	国分	溝辺	横川	牧園	霧島	隼人	福山	補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源	
1	霧島市少年少女合唱団									40人	補助金 112	自主財源 361	補助金 100	自主財源 310	補助金 100	自主財源 310
	対象地区	●								合計 473	合計 410	合計 410	合計 410	合計 410	合計 410	
										自主財源率 76%	自主財源率 76%	自主財源率 76%	自主財源率 76%	自主財源率 76%	自主財源率 76%	
2											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象地区									合計	合計	合計	合計	合計	合計	
										自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	
3											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象地区									合計	合計	合計	合計	合計	合計	
										自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	
4											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象地区									合計	合計	合計	合計	合計	合計	
										自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	
5											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象地区									合計	合計	合計	合計	合計	合計	
										自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	
6											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象地区									合計	合計	合計	合計	合計	合計	
										自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	
7											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象地区									合計	合計	合計	合計	合計	合計	
										自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	
8											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象地区									合計	合計	合計	合計	合計	合計	
										自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	
9											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象地区									合計	合計	合計	合計	合計	合計	
										自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	
10											補助金	自主財源	補助金	自主財源	補助金	自主財源
	対象地区									合計	合計	合計	合計	合計	合計	
										自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	自主財源率	
計										40人	補助金負担金合計 112	自主財源合計 361	補助金負担金合計 100	自主財源合計 310	補助金負担金合計 100	自主財源合計 310
											自主財源率 76%	自主財源率 76%	自主財源率 76%	自主財源率 76%	自主財源率 76%	自主財源率 76%

■負担金の状況

単位：千円

No.	団体名・協議会名		平成22年度 (決算)	平成23年度 (計画)	平成24年度 (予定)	負担金の支払先			
	負担金額					全国	九州	県	その他
1									
2									
3									
4									
5									
		合計							

■平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位：千円

当初予算	112
補正予算	
合計	112

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

交付シート <補助金・負担金用>

事務事業コード	774215	事務事業名	少年少女合唱団運営事業	担当部	教育部
				担当課	文化振興課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	合唱団の設置により、年間を通じて合唱の練習に取り組むことは音楽環境の充実と青少年の健全育成につながる。
	② 公共関与の妥当性 ・なぜ市が補助又は負担しなければならないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	音楽環境の充実による文化芸術の向上と、団員の音楽の向上並びに健全育成を図ることは、本市の役割であり活動補助金の支出は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	対象は市内のすべての小中学生であり、意図も音楽文化の向上を目指しており適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	合唱団員を募集して団員を増やすことにより、より充実した合唱(例えばオペレッタなど)に取り組むことができる。また、子どもたちが異年齢の集団の中で活動することは、仲間づくりや青少年健全育成の向上に期待できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・補助金又は負担金の交付を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	補助金の交付廃止により合唱団活動の停滞が予想される。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・他に同様の補助金又は負担金はないか? ・統廃合や連携することができないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・交付先に働きかけて、市の負担を削減することができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、合唱団員の負担金は会費6,000円、保険料1,000円であり、事業費の自主財源率も70%を越えていることから、現状が妥当である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、職員の事務は補助金交付に伴う手続きと、合唱団運営のための一部の事務作業であり、近年合唱団の保護者による育成会を設立・充実させたことから、担当職員の事務量の大幅な削減がなされた。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・補助金又は負担金が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	団員の募集は市内の全学校の児童生徒を対象にしており、また全体事業費の自主財源率が70%をこしていることから、公平である。
総 括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		少年少女合唱団の活動については、年間をとおして練習や合唱祭、老人ホームへの慰問など活発に活動しており、十分に事業の目的に達していると考えている。また、合唱団主催の合唱祭では、中学校の合唱部や一般の合唱団に出演をお願いしており、他団体との交流も活発に行っている。今後は、合唱団育成会を中心により充実した活動ができるような指導を進めていきたい。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
・主な取組み 鹿児島県合唱祭の参加 白い歌青い歌フェスティバルの参加 定期演奏会(合唱祭)の実施 ・期待される効果 音楽(合唱)の素晴らしさを市民に広めることができる 合唱団の活性化 団員の音楽(合唱)技術の向上 各地域や異年齢による交流	・充実した合唱(例えばオペレッタ、アカペラなど)に取り組む ・合唱団の活性化を図り、合わせて団員の参加者を増やす。 鹿児島県合唱祭 白い歌青い歌フェスティバル等の参加 定期演奏会の実施